新京日日新聞
夕刊
三月二十九日
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行一圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三一〇五　營業局專用（3）三一二〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

愈よけふから穴倉で 六全大會秘密會
空襲を恐れ避難所まで設置

【香港廿九日發國通】廿九日開催される六全大會はわが空襲を恐れて極めて秘密裡に擧行されることになり、會場等一切嚴密に附してをり、代表の數、顏觸及びその行動も極秘に附されてゐる、漢口の空氣は數日前より極度に緊張を加へて蔣介石は中央軍四ケ師を漢口に集中し、反動分子の策動を嚴戒するとゝもに會議中に日本飛行機の空襲を受けるを恐れ高射砲及び戰鬪機を漢口一帶に集中し、一方市內に防空壕を增設し、空襲の場合の參加代表の避難場所に充てるといはれる

主なる議題

【上海廿八日發國通】六全大會は愈よ廿九日國府所在地たる重慶に於て開會式を擧行し實際の會議は漢口に於て行はれることゝなつた、淪落に瀕せる蔣政權最後のあがきたる本大會は對內外諸問題山積せる折柄とて凡ゆる意味に於て注視されるところであるが、現在までに傳へられる主なる議題としては

一、國民黨々章改訂による國民參政會の組織（參政權の開放）
一、國共合作問題の再檢討
一、對外關係の再調整及び援助工作の方法
一、長期抗戰に耐ゆべき財政資源の處理
一、國民總動員により軍事的力量、各分野における綜合的力量の集結問題
一、北支ならびに中支新政權に對する態度
一、今後の作戰方式

等が擧げられ、日支事變により混亂に陷つた各種體勢を建てなほし且つ未解決の儘となつてゐた各種問題に對し一應の締くゝりをなさんとするもので國內苦境を更生打開せんとする必死の努力が拂はれるものと見られる、而して最も興味ある問題は今大會に於て國共兩黨の關係が如何に處理されるか、共產黨側の思ふ壺にはまつて國民政府が赤の陣營に本格的に飛び込むか或は又過去の誤謬を反省して嚴正批判の態度を採るかこの決定はひいて對英、米、ソ關係にも影響が現れるべく又長期抗戰の前途も暗示されることゝもならう、但し一部の噂によれば南京の新政權誕生による精神的打擊と廿七日のわが海軍航空隊の〇〇機に及ぶ大擧空襲により漢口市中は大混亂狀態に陷り、折角集つた代表等の中には恐怖のため逃出すものもあるなど現下の情勢においては大會も不可能の有樣にして或は延期されるやも知れぬといはれてゐる

維新政府の誕生に 國府周章狼狽
名實共に地方政權に轉落す

【上海廿八日發國通】全國統一を夢想した蔣介石政權がその誤れる政策の最後の審判を受けて今や漢口を中心とする奧地に漸く餘命を保つのみとなり果てた折柄、江南二千萬民衆の要望と熱意はついに二十八日南京に新政權を樹立せしむるにゐたり、一は沒落、一は新興の相反する運命になつて揚子江流域に二つの政權が成立するの形となつたが、新政府の誕生が蔣介石政權に與へる精神的影響は極めて甚大なものがあるのは外人も一般に認めるところで、殊に新政權を組織する要人の堂々たる顏觸れに對して國民政府側の驚愕は相當深刻なるものがあつたものゝ如く內心戚怖の念をすら抱くに至つたと傳へられてゐる、而して新政權誕生の機運を察知して以來の國民政府の狼狽振りは醜態を極め、民德の離反を懼れ急に六全大會の開催を決定、國民參政會の組織等をもつて一黨專制主義の放棄をほのめかし、全國に檄を飛ばして代表者の漢口參集を求めたのであつたが、しかし國民政府の政策に嚴正な批判の目を向けつゝある國民は最早國府の要望に服せず各地代表の參加は極めて少なくこゝに國府崩壞は事實によつて示されその煩悶の度は愈よ深刻化しつゝあり、その國府のあがきを尻目に新政權は六全大會に先んずること一日、盛大な成立式を擧行、江蘇、浙江、安徽三省と上海市をその統治區域とする旨

聲明 するに至り、茲に國府は名實共に江南三省ならびに二千萬民衆を失ひ曩に北支五省を失へると共に今や完全に一地方政權に轉落するに至つた

鳳陽の土民 二千名歸順 新政權樹立の日

【蚌埠廿八日發國通】中支新政權樹立祝賀式の廿八日鳳陽附近約二十個部落の土民二千名が歸順して來た、これ等土民は何れも遊擊隊に强制的に徵募されて抗日戰を强ひられ更に牛馬の如く酷使鞭打たれて來たのであるが、皇軍の宣撫、傳單を見て今こそ蔣の羈絆を脫すべき時機至れりと小蚌埠東南方雲庄の村長丁來紹氏が中心となり二十個の部落民を纏めて歸順して來たもので、彼等は何れも今後は皇軍と協力して敗殘兵匪賊討伐を行ふと誓つてゐる

浦東の石炭に關し 所有者の注意喚起
＝陸海軍當局談發表す＝

【上海廿八日發國通】陸海軍當局は從來浦東にある石炭に關してはその所有權を尊重して來つたが、最近わが眞意を諒解せず名義變更によりその搬出を圖るものが多いので廿八日左の如き當局談を發表し石炭所有者の注意を喚起した

中國人の浦東にある石炭を所有するものにして事變以來第三國人に讓渡し、または軍にその名儀を變更して石炭の搬出を圖るもの多しわが大日本帝國は正當なる石炭の所有者に對してはその如何なる國籍人たるを問はずその所有權を尊重するものにしてわが陸海軍においては既に徵發したる分に對しては勿論今後徵發する場合にも相當代金を支拂ふ方針なり、これがため目下關係官憲において銳意實情調查中にして近くその完成をまち善處するところあらんとす

中國石炭所有者はよく帝國の眞意を諒解しこの際輕擧を愼しむと共に左記條項を遵守するを要す

一、昭和十年八月十三日以降に於て石炭の所有權名儀を第三國人に變更し且つ法律上の手續き及び代價の收支をなしあらざる者は直ちに自己名儀に還元し且つ其旨を陸軍及び海軍特務部ならびに總領事館に屆出すれば優先處置を與へらるべし
二、石炭所有權に關する調査は現在ほゞ完了しあるをもつて爾今石炭を第三國人に賣却し又は名儀を變更せんとするときは陸軍及び海軍特務部長に屆出ずべし
三、第二項の屆出を怠るものは相當の處罰をなすことあるべし

全滿久しく待望の 石炭運賃を改正
來る十月から一齊に實施

滿洲產業開發促進の見地から久しく待望されてゐた全滿鐵道の貨物運賃統一に就てはかねてより鐵道總局において

一、社線、國線、北鮮線を通ずる單一運賃の設定
一、滿洲產業開發政策、特に重工業部門生產力擴充への寄與
一、普通運賃率により右目的の達成し難き特殊貨物に對し品目運賃率の設定

等を目標に銳意研究を進めて來たがいよ／＼最後的決定をみるに至つたので本年十月を期し一齊に實施することゝなつた、しかして新運賃組織率は

一、一般運賃率
イ、普通貨物運賃率
ロ、品目運賃率
A、穀類運賃率
B、石炭運賃率
C、鑛物運賃率
D、木材運賃率
E、生畜運賃率
二、特定運賃率

となつてゐるが、右品目運賃率中石炭運賃率に就ては重工業開發促進上之が急速なる實施の必要に迫られるに至つたので、他の品物と切離し來る五月一日より實施することゝなり右の旨廿九日午前十時鐵道總局より正式に發表された

新石炭運賃率は滿洲產業五ケ年計畫に順應し新炭鑛の出炭に對しその市場性を有せしめると共に、地理的關係を考慮して運賃負擔力の合理化を圖り以て一般產業の興隆に資することを主限に制定されたもので、これがため近距離に於ては極めて少額の引上を見たが遠距離においては大巾の引下げとなり、鐵道の拂ふ犧牲も現行運賃に比し年額二百七十萬圓に達する見込みである

新舊石炭運賃を仕向地別について比較すれば左の如し（一噸當り單位圓）

炭別	仕向地	舊	新
撫順	大連	五、一〇	四、九九
同	奉天	一、五三	一、三六
同	新京	六、四九	四、六一
阜新	壺蘆島	三、二三	三、四〇
北票	立山	七、五六	四、九九
西安	四平街	一、六六	二、〇四
同	新京	四、四七	三、四五
同	哈爾濱	七、七三	五、〇四
同	齊々哈爾	九、三三	五、五七
密山	淸津	八、六八	五、四七

新石炭運賃實施で 炭價値上り抑制
＝國內消費業者に福音＝

鐵道總局では廿九日新石炭運賃率を發表したが、石炭は**滿洲**における日常生活に不可缺のものなるのみならず一國產業の消長に重大なる關係を有してゐるので鐵道總局では滿洲國產業開發五ケ年計畫の線に沿ひ

一、阜新炭開發に對處する壺蘆島の膨大なる築港計畫
一、河北港の修築及び車輛增備計畫
一、哈爾濱および齊々哈爾における炭價引下に對する運賃上の協力
一、奉天向阜新炭、齊々哈爾向札來諾爾炭その他に對する特定運賃の設定

等炭鑛增產計畫の遂行に多大の努力を拂つて來た、しかるに今次事變を契機として日滿兩國經濟の非常時體制化の切實性は更に石炭の積極的增產を要望するに至り、總局ではこの新情勢に適應すべくこゝに石炭開發國策に呼應し運賃の合理化、社、國線運賃統一を眼目として昭和十三年度豫算計上數量を基礎とし現行運賃に比し約二百七十萬圓の減收を見込み、新に石炭運賃を制定するに至つたものである、しかして內地における石炭價格は諸物價の昂騰に倣つて漸次騰貴の趨勢にあり、既に噸當り廿圓を突破する現狀にある、これに反し滿洲における炭價は昭和七年以來不動で、北滿の如き噸當り一圓乃至二圓五十錢の低下を見せてゐるが、近時內地の炭價奔騰が反映して滿洲における

炭價 もようやくの値上氣勢を示さんとしつゝある折から、今次の新運賃制定はこれが危惧を完全に一掃した譯で國內消費者にとつて大なる福音である

鄭孝胥氏の訃を悼む

廣田外相

鄭孝胥氏は德望、學識兼備の實に立派な人物であつた、鄭氏は王道主義に立脚して帝制復興運動に心身を打込み曾つて黎元洪、段祺瑞兩氏からしば／＼出馬を懇請されたが初志の貫徹に邁進して一身の利害などは全くその眼中になくその度每にこれを拒絕した、滿洲國の樹立を見るに至り同氏は老軀を挺して初代國務總理となり國基の確定日滿提携の强化のため盡瘁し、一昨々年の行政改革と共に官界を退き爾來元老として皇帝の側近に侍することゝなつた、鄭氏は本年七十九歲の高齡ではあるが壯者を凌ぐが如き健康であつたから引續き側近に侍して御奉公申上げるであらうと考へ日滿兩國のために喜んでゐたが、今この人の訃報に接したのは兩國のためにも大なる損失といふべく誠に哀惜に堪へない

菱刈大將

滿洲國建國の元老を失つて誠に惜しいことを致しました、鄭氏は本當の意味の東洋的哲人であり東洋的な政治家であつた、老齡を加へられ益々圓熟されて滿洲國の精神的師表として何時までも仰がるべき方であつたのに急逝されて何とも哀惜に堪へない、私は關東軍司令官時代特別に胸襟を開いて話合ひ兄貴分として尊敬して居た方なので感慨無量である、お互ひに朝を下つたら何處かで會つてゆつくり話合はうと約束してゐたのだつたが、その約束も今となつては空しくなつて仕舞つた

南朝鮮總督

滿洲國皇帝陛下御幼少の頃から側近に親侍して羅振玉氏とゝもに滿洲國元勳の地位にある鄭孝胥氏の訃報に接し南總督は駐滿大使當時接した鄭氏の風手を想起し深甚の弔意を表しつゝ二十八日左の如く語る

鄭孝胥氏の訃報に接し滿洲國皇帝陛下の御心中を拜察し奉り感慨に堪へないものあり同時に滿洲國のためにその不幸を悲しみ、私自身の友人として痛惜の情を禁じ得ない、鄭氏は滿洲國建國當初、最初の總理として忠誠をはげまれ、私を忘れて一意專心皇帝にお仕へ申上げ、また滿洲國のため獻身の努力をはらはれた、その忠誠と高邁なる人格に敬意を表する次第である

杉山大將

前滿洲國々務總理鄭孝胥氏逝去の訃報に接し痛惜の念を禁じ得ない、顧るに鄭孝胥氏は昭和七年滿洲國成立と共に國務總理兼文教部大臣として國政の重任に當り多難なる肇國の大業を翼贊せられ、又昭和十年その職を退いて以來も元老として皇帝の側近に侍し重要國務に參與して日滿一德一心の實をあげられたる功績は誠に偉大であつて、永く滿洲國の建國史を飾るものであると思ふ、友邦滿洲國が建國六周年にして國礎愈よ堅く治外法權の撤廢を一期として更に一段の飛躍期に入らんとするときに當り更に北支に中支に滿支親善を國是とする新政權が成立し將に東亞の黎明を迎へんとしつゝある今日氏の如き大先覺者を大政治家を失ひたることは友邦滿洲國にとつてのみならずわが日本にとつても亦大なる損失であつて寔に惜しみても餘りあることである、謹んで哀悼の意を表する次第である

筑紫前參議

十二指腸を患つてをられるとは聞いてゐましたがそんなに惡かつたとは知りませんでした、氏は健康については非常に自信のある人で氏獨得の健康法を二十年來實行されてゐました、その健康法を五、六年前に十年後には公表すると云つてをられましたがその公表もせず逝去されましたが政治家としては外に又人もありませうが學者としては氏は滿洲國における第一人者でその點皇帝陛下の御落膽もさこそと拜察されます、洋々たる前途を約された滿洲國の將來については安心して目を瞑られたらうと思ふ

大津新關東局總長 明朝八時十分着に變更

新任關東局總長大津敏男氏は三十日午前八時十分着で着任に變更された

中支占領地域 鐵道名、驛名改正

【上海廿九日發國通】わが出先關係官憲によつて組織する驛名決定委員會は中支占領地域における鐵道名および驛名を改正するため協議を進めてゐたが漸く成案を得たので廿八日左の如く決定、來る四月一日より實施することになつた

一、鐵道名
松滬鐵路は吳淞線、京滬線は海南線、滬杭甬鐵道は海杭線、江南鐵道は南寧線とそれ／＼改名された
二、驛名は原則として現行の漢字名をその儘用ひる、但し
イ、吳縣は蘇州、吳淞鎭は北吳淞、張華濱は吳淞と改める
ロ、站および鎭の文字を廢止す
ハ、上海南站、上海總站などは日本流に東西南北の文字を頭に冠し南上海、西上海等とす
ニ、日本にて一般に使用せざる漢字は同音類字の漢字に改める
ホ、上海北站、鎭江西站、武湖江邊、武湖東門、橋頭汪家等はそれ／＼上海、鎭江、武湖、東武湖、汪家等に改める
三、讀方は日本讀とす（例へば江灣（キャンワン）は江灣（コウワン））但し吳淞、上海、南京、開口は支那讀を用ふ、驛員無配置驛名もこの際決定しておくことゝす
四、平假名および漢字をもつて表示す（平假名は文部省國語調査會の所定の假名使による）
五、ローマ字表示は廢止す
六、建植板その他の標札は國有鐵道の書方にす

皇軍杜莊を陷れ 郭里集に肉薄

【兗州廿八日發國通】郭里集に進出したわが〇〇〇部隊及び谷口部隊は郭里集東北方の陣地に據る敵に對し猛攻を加へ、廿八日午前九時卅分杜莊（郭里集東方二里）占領目下攻擊續行中である、同方面の敵は湯恩伯の第四師、第八十九師及び關麟徵の第二師、第廿五師に屬する部隊で、敗殘四川軍を合しておよそ三萬である

徐州宿縣を爆擊

【兗州廿八日發國通】廿八日朝〇〇基地を出發したわが〇〇航空部隊〇〇機は敵軍根據地津浦線上の徐州及び宿縣を空襲爆擊を敢行して引揚げた

松本總理秘書官 北支視察に赴く

總理秘書官松本益雄氏は廿九日午前十時ひかりで南下約二週間の豫定で北支視察に赴いた

寺內最高指揮官等祝電

【北京廿八日發國通】中華民國維新政府成立に當り北支派遣軍最高指揮官寺內大將は、同政權を祝福せる懇切なる祝電を發するところあつたが、喜多特務部長の名においても同樣の祝電が發せられた

ハウス大佐逝去

【ニューヨーク二十八日發國通】世界大戰當時故ウイルソン米國大統領の外交懷刀として活躍し又世界資源再分割論の先驅者として知られるエドワード・ハウス大佐は昨年六月以來健康を害し療養中であつたが、老衰加はり廿八日午前ニューヨーク市の自邸で逝去した、享年八十

人事往來

着京

▲梅津理氏（會社員）廿九日來京ヤマトホテル ▲完木利恭氏（煤鐵公司）同國都ホテル ▲立井宗義氏（藥劑師）同 ▲草野松雄氏（官吏）廿八日來京國都ホテル ▲岩瀨成次氏（同）同 ▲神田坤六氏（同）同 ▲楠本仙市氏（土建業）同 ▲內藤雄一郎氏（會社員）同滿蒙ホテル ▲山根權三氏（同）同 ▲上野充一氏（滿鐵社員）同蓬萊ホテル ▲權田邦彥氏（同）同 ▲岩崎淸氏（官吏）同 ▲重久節哉氏（同）同 ▲植村良男氏（奉天浪速高女校長）同 ▲伊藤國長氏（神戶海上火災）同 ▲高須進一氏（官吏）同 ▲山像淸一氏（同）同 ▲日向新氏（滿鐵社員）同 ▲小泉九輔氏（電氣業）同都ホテル ▲中原昌鷹氏（石炭商）同 ▲沼田德一氏（滿鐵社員）同 ▲村越信夫氏（官吏）同 ▲匂坂三津平氏（滿鐵社員）同富士屋旅館 ▲高山五百折氏（海拉爾青年學校）同 ▲吉岡政助氏（哈市青年學校）同 ▲森英吉氏（土建業）同 ▲今村精男氏（官吏）同 ▲湯淺貢氏（木材商）同向陽ホテル ▲齋藤良象氏（官吏）同國際ホテル ▲野口正也氏（同）同 ▲守田忠太郎氏（會社員）同 ▲近藤嘉九男氏（官吏）同 ▲櫻井友治氏（官吏）同帝都ホテル ▲寺本廣作氏（同）同

出發

▲佐藤健三氏 廿八日大連へ ▲岡本至德氏 哈市へ ▲黑瀨正三郎氏 同 ▲三浦保雄氏 同 ▲伊藤重太郎氏 同 ▲宮原政雄氏 奉天へ ▲藤原千里氏 同 ▲大穗新氏 四平街へ ▲熊平源藏氏 京城へ ▲加藤衛氏 大連へ ▲近藤太志氏 奉天へ ▲長野四郎氏 哈市へ ▲加藤謙次郎氏 奉天へ ▲大河原半藏氏 大連へ ▲加藤德雄氏 哈市へ ▲鈴木啓正氏 大連へ

その日／＼

□穴倉の中で六中全會、陽の光りを見づして陽出づる國に抗すとは……
□中國維新政府誕生の日中支福州の產滿洲國元勳鄭孝胥氏逝く
□靈魂中支に還つて維新政府をして第二の滿洲國たらしめ給はんことを祈る
□それにしても元勳の病篤きを死の一日前本紙ひとり特報其餘りにも慌しかりしを想ふ
□石炭運賃引下げ、石炭の山に入つての石炭苦漸く解消の氣運

（二）　（第三種郵便物認可）　昭和十三年三月三十日　新京日日新聞　（木曜日）　第五千四百五十七號

市を中心とした鐵壁の大防護陣
新京防護團新方針

新京防護團では二十六日午後一時より協和會館に於て協議會を開催軍部側よりは竹内參謀、中村參謀、新京憲兵隊副官（代）國都憲兵隊長（代）地方側よりは在郷軍人新京聯合分會長、防空協會主事高木正枝、首都警察副總監（代）電々新京監理局副局長、電業股份有限公司新京支店長、南滿洲瓦斯株式會社新京支店長協和會首都本部事務長、田中善平氏等二十七名出席して同防護團の實際に即した合理的運行の目的をもつて團則の改正について協議を爲し今後は左の如き方針により市を中心とした鐵壁の防護陣を布くことゝなつた

一、防護團が市民に依つて成る自治的防護團體たる立前よりして今期に於て舊制分團に變る新制區團を組織し其の統轄者に區長を充つ
二、防護團の援助業務は將來官公衙會社等防護責任機關の防護團力擴充に伴ひ必要程度に縮小
三、防護團の裝備を完成し其の他團全體の質的向上を期す
四、防護團の維持費其の他の經費は寄附金等の如き一時的不定的なるものに依らず恒久的確定的なる財源たらしむること

右の改正方針に依り或は其の他の見地より變更せんとする團則は新團則の通りとす

平素の用意が大切
防空演習豫告なし

尚將來の防空演習の實施に關し席上新京警備司令部參謀より「從來の防空演習は其の實施前に相當の期間を置いて一般に豫告し演習も準備演習本演習と區分して實施したるも將來の演習は實際的に進歩せしめ一般に豫告なしに演習指令に依り直に演習を實施するに付市民は平素より燈火管制其他一切の防護準備を完成し置くこと」と概要の方針を明示するところあつた

觀櫻御會御取止

【東京國通】畏き邊りにおかせられては事變下の時局に鑑み昨年秋の觀菊御會以來宮中に於ける一切の御盛宴をお取止めになり誠に恐懼に堪へない次第であるが、毎年四月新宿御苑に行はせられた觀櫻御會も今年はこれを御取止めに成る旨二十八日宮内省から發表された

オ大會費
千六百萬圓可決

【東京國通】オリンピック大會の東京市分擔施設費豫算六百萬圓ならびにオリンピック關係道路修築費豫算一千萬圓は廿八日午前東京市會普通經濟豫算委員會に上程、審議の結果種々の質問もあつたが、結局滿場一致で右豫算案を承認決定した、また一時は難澁を思はせた駒澤ゴルフ場内の大會用プールも無事委員會を通過し直ちに同日午後開會の市會に上程正式承認を求めることゝなつた

新京體聯
專門委員會構成

新京體育聯盟では廿八日午後六時より國都グリルに於て桑原部長、北野市主事、田中體聯主事、長島體保書記長その他野口、山下、村上、仲田、田島、齋の諸氏が參集役員の決定本年度の事業計畫その他に關し協議するところあつたが役員及び新京在住の先輩をもつて專門委員會を構成實行の運用を圖るが滿洲陸協に於て近い内に同樣專門委員會が構成される氣運にあるので新京より選出された滿洲陸協の專門委員の諸氏に新京の指導を依頼することゝなつた

拘留科料罰金何れもお好次第
違警罪處罰令制定

警察官の[illegible]、違警罪處罰令（日本の警察犯處罰令に該當する）が現在の違警罰法を廢し新たに公布され四月一日から實施されることゝなつた、治外法權の撤廢並に附屬地行政權の移讓に即應して取締りの完璧を期するために制定されたもので條文は六ケ條よりなり拘留、科料に處すべき行爲が定められてゐる、第一條第一項の「一定の住居生業なくして諸方を徘徊する者」から初まりズラリと掲げられた六十三項の各項は何れも拘留、科料、罰金の何れかに該當するもの故、一般民衆にとつては余り有難くない部令だが警察官にとつては自由自在に働け得るもので日本の處罰令に規定されてゐるもので本令に規定されてゐないものは僅か二項にすぎないが日本の處罰令に規定せざるもので本令に規定せる條項は三十一の多きに上り内地以上に警察取締りの嚴なることが示現されてゐる

滿映内紛續く

滿映協會配給關係部内の軋轢抗爭はその後益々熾烈となり傍系たる興業會社設立計畫を巡る市内某キネマと密接なる關係を有する現地派幹部は内地派追ひ出し策として徒らに官憲の名を利用せるものゝ如く、此の報一度傳はるや俄然配給關係社員間にセンセーションを捲き起し、幹部の措置は單に自己の野心を滿たすに過ぎざる卑劣なる手段となす若手社員間には早くも辭職屆を懐中に出社、萬一の場合は連袂退社も辭せざる形勢にあり、成行は多大の注目を拂はれてゐる

遺德千載哀惜盡きる無し

最後の教訓
令孫三君交々語る

【東京電通】盟邦滿洲國の建國の元勳鄭孝胥氏の訃報をうけ、この春早大國際學院を卒業したばかりの鄭氏の令孫鄭子學（廿八）、同鑄鼎（二十八）、百穀（二十）の三君を世田谷區北澤のアパートに訪ねると暗澹たる面持で交々語つた

祖父は七年前祖母を失つてからめつきり弱くなり昭和十年辭任後は新京柳條路三〇一の自邸で靜養に努めてみた、このお正月に私（子學君）が歸國した時も病床にありましたが、元氣だけは相變らずで滿洲人の事業家の少ないのを嘆いてをりました、私にも帝大の經濟學部を出て事業家になれといつてをりましたが、今思へばそれが祖父の最後の教訓となりました

とにかく大使館にも詳細問合せた上三人とも至急歸國せねばなりますまい

なほ鄭子學君は孝胥氏の長男禹氏の、鑄鼎、百穀兩君は次男垂氏の子息であり、この春を期し帝大及び早大への入學準備中である

閑暇草木を慈む
庭師磯部氏語る

急逝せる前國務總理生前の人格識見を慕ひ日暮に至るまでひつきりなしに詰めかける弔問客で混雜してゐる柳條路の鄭前總理公館の裏庭へまわつてみると、これは又表玄關とは打つて變りひつそりとしてゐる、たゞ家人近親達が主人の遺骸を圍んで號泣してゐる肺腑を抉るやうな悲しい聲音がカーテンを重々しく垂らした二重硝子の窓の奥から洩れて來る、フトみると人氣のない裏庭の一隅に腕をこまねき淚ぐみつゝ仰向いてゐる人がゐるので側に歩み寄つて問ひかけると、この人は生前鄭孝胥氏の愛顧を一身に集めてゐた庭師磯部氏であつた、鄭氏の急逝に心も動顚せる磯部氏それでも氣を取り直して在りし日の前總理を偲び左の如く語つた

どうも急にこんなことになられたので……あの方が書についで愛好されたのは草花や樹木でした、最近私がこのお邸の松の木を手入れ致しましたが、出來上りを御覽になつて「あゝ實に良い氣持だ」と一言お洩しになりました、コスモス等は御自分で丹精されたものでした、非常に朝のお早い方で夜起庵雙と號されてゐました、非常に靜かな日々を送られた方で私共のやうなものをお相手によく樹木、草花のお話をなさいました元の城内の公館の庭に柳を廿三株殘して來られ、これを大變惜しがつて居られました今東京に居られるお孫さんを可愛いがられてゐらしたのですが御臨終に間に合はないを誠に殘念でした王道書院で講演をなさる前の晩は大層お軀の具合が惡かつたのですが翌日押して講演されたのが惡かつたのではないでせうか

輝やく功績殘し
滿洲國婦解散式
あす軍人會館で擧行

滿洲帝國々防婦女會が康德元年十月二十一日颯々の聲を擧げてより爾來三ケ年半全滿に約三萬三千六百余名の會員を得、漸く運動の軌道に乘りつゝある時、四月三日新たに結成される在滿婦人團體の大同團結「滿洲國婦人會」の一翼として參加、過去の幾多の功績ある歷史の幕を閉ぢることとなつた、婦女會が結成以來永い歷史と傳統に閉籠る滿洲國婦女に呼懸けて「銃後の護りは家庭から」のモットーの下に生活改善、文化向上、教養常識の涵養に力を盡し是等の運動を通じて國家觀念の養成、國防の意義の認識徹底に努め着々好果を擧げて來たが、特筆すべきは昨年度の協和會派遣北支慰問團に四名の代表を送り北支の婦女に呼懸けたことである、更に指導部では家政講習所を開き日語教授を主體として滿洲國民として必要な公民科、修身科精神教育に努めると共に洋裁、編物、西洋刺繍等手藝を數つて成績品のバザー開催等好評を博し、第一期生卅名は去る廿三日孫民生部大臣夫人、張司法部大臣夫人等の臨席を得て華々しく卒業した、是等の輝かしき功績を殘して同會ではその最後をフイナーレとして三十日午後一時三十分より日滿軍人會館で多數日滿官民の列席を得て解散式を本部、首都支部共同で開催して功勞者を表彰することとなつた、尚

首都支部は康德三年十一月八日結成され現在四分會を有して、大經路、長通路兩分會は新婦人會に其のまゝ參加、寬城子分會は國防婦人會寬城子分會と合體して文字通りの民族協和の分會を設立、朝鮮人分會は鷄林分會と改名して參加する外結成準備中の四道街南關兩分會は未結成のまゝ發會式典に參加して五月中旬正式に成立を見ることとなつてゐる

滿鐵社員會
新京役員會開催

滿鐵社員會新京聯合會役員會は二十八日午後支社會議室にて開催、本年度事業計畫其他につき協議したが本年度事業は非常時國策の線に沿つて事業を行ふことゝなつた、四月一日の會社創立記念式典は同日午前十時から會社、社員會共同主催にて開催するが本年は時局柄催物は一切取止め式典を行ふことになつた

小鳩童謠研究會
國防献金持參

二十八日記念公會堂に於て本社後援のもとに第二回童謠舞踊發表會を開催し可憐な舞台に大好評を博した新京小鳩童謠研究會並に小鳩母の會では當日會場備附の國防献金箱を整理したところ、純眞な少年少女達が赤誠こめた一錢二錢の献金が卅九圓三十六錢の多額に達したので大喜び、早速二十九日午前中に同會指導者田原龜代治先生に引率せられた金子和子さん（十二）季島悦子さん（十三）季島寬子さん（十一）季島邦子さん（九）の三姉妹に伊藤とし子さん（十二）等の五人の小鳩達は會員を代表しズツシリ重たい献金袋を夫々抱へて本社を訪問、献金方を申出たので早速手續をとつた【寫眞は向つて左から和子さん、悦子さん、邦子さん、寬子さん、とし子さん、田原氏】

松岡總裁吉林へ

滯在中の松岡滿鐵總裁は二十九日午前八時四十分の列車で吉林に向つた、午後七時四十五分歸京三十日午前十時の列車で奉天に向ふ豫定

新京クラブ會員券
廿九日より賣出し

内地中等學校の猛剛を加へ陣容を一新した新京野球倶樂部は既に猛練習を開始したが本年度の會員券は一ケ年三圓、三ケ月々擲拂で二十九日から滿鐵新京支社福祉係で發賣を開始した

三笠校五女生が國防献金

新京三笠小學校女子部五年生二組四十名は日支事件勃發と共に國防一錢貯金をなし來つたが、この程五圓七十錢となつたので石黒久子さん、松岡錦代さんのふたりの代表は二十八日午前十一時關東軍司令部を訪れ「國防金のたしにして下さい」と五圓七十錢を献金し關東軍將兵を痛く感激せしめた

定期種痘には間違ひなく…

首都警察廳衛生科に於ては去る三月五日付民生部令第三十三號により公布せられた傳染病豫防規則によつて定期種痘を施行することゝなつたが、右定期種痘は三期に分け第一期は康德四年（昭和十二年）生れの者、第二期は大同三年康德元年、昭和九年生れ五歲の者、第三期は昭和二年、民國十六年生れ十二歲の者に施行することゝなつてゐる尚種痘の徹底を期するため定期種痘と共に六歲より十一歲までの者に對しても臨時種痘を施行する筈でこれが期日場所その他は目下計畫立案中である

營業許可證
書替へは早く

昨年十二月七日治安部令第四十七號及民生部令第三十三號に以て公布された日本帝國當該官署即ち關東局或は領事館から發給した各種營業の許可證、認可證、免許證を持つてゐる者で治外法權撤廢以降引續き滿洲國の法令により警察の取締りを受ける者は本年五月卅一日までに當該官署に屆出それぞれ書替を受けることゝなつてゐるがまだ屆出者が少ないと言ふ甚だ慢々たる狀態に當局は整理上甚だ迷惑を感じてゐる、該當者は速かに所轄警察署へ屆出方を要望されてゐる、尚首都警察廳では屆出の徹底を期するため總監宛のものについては樣式印刷の上業者に配布する筈である

忌明け献金
水野福德氏から

滿和胡同六〇四、水野福德氏は故四男の忌明に際し金三十圓を國防資金にと二十八日協和會首都本部に持參したが、協和會では本社を通じ献金方を依頼、本社は早速その手續きをとつた

愛孃忌明に國防献金
村井宇一氏

國務院地籍整理局庶務科長兼企畫科長村井宇一氏は嚢に愛孃三女直子さんを亡ひ二十七日その忌明に當り時局柄香奠がへしを取止め國防献金、皇軍慰問金、滿洲國殉職々員遺家族救濟、遺兒育英資金等に献金ならびに寄附を行ふことゝし國防献金五十圓、皇軍慰問金五十圓を本社に寄託して來たので何れも關東軍へその手續きを了した

建國殉職者子弟育英事業に
献金三件

滿洲帝國協和會では嚢に各方面からの寄附金をもつて建國殉職者の子弟育英事業に本格的に乘り出すこととなつたが二十八日中央本部に左の諸氏よりの寄附金があつた

一、遼陽縣本部大子溝分會徐洪佐氏以下四十三名より滿洲國が出來て吾々の生活は改善せられ王道樂土に安居樂仕してゐるからと會員の醵金二十二圓七十錢
二、鶴河縣本部より會員の醵金四十一圓八十一錢
三、地籍整理局庶務科長兼企劃科長村井宇一氏より三女直子さんの香奠返しの金五十圓

山本書記官出發
廿九日あじあで

本省に榮轉する駐滿大使館一等書記官山本熊一氏は家族同伴二十九日午後二時十分のあじあで大連經由歸朝の途についたが驛頭には大使館、關東軍、關東局、滿洲國各部代表等在京日滿顯官の盛大なる見送りがあつた

淺子事務官來社

治安部警務司特務科思想股長から本溪縣副縣長に榮轉の淺子英氏二十九日轉出挨拶に來社

滿洲房產創立披露

滿洲房產株式會社は來る四月一日午後六時半新京ヤマトホテルで創立披露を行ふ

板倉業務課長

滿鐵新京支社業務課長板倉眞五氏は二十八日午後[illegible]に出張

今晩の主なる放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）永田絃次郎▲七・四〇講演（天津）▲八・〇〇常磐津「[illegible]」（東京）常磐津兼太夫外▲八・三〇新日本音樂と尺八合奏（大連）福永朴子外▲九・〇〇ラヂオ社會面（大阪）

邦洋二本立 けふからの長春座

長春座廿九日よりの番組は松竹京都「浮名ざんげ」米モノグラフ社「怪人ブリーム博士」の二本立である

▽松竹京都「浮名ざんげ」故鈴木泉三郎の名作「治郎吉懺悔」を犬塚稔と共同脚色して多島泰三が監督に當つてゐる、蕎麥の好きな鼠小僧治郎吉が捕手に追ばれて蕎麥屋の出前役に變裝するそこで幼馴染みの燕の直と言はれてゐる腕利の捕手と逢ふが、昔の友情から直は鼠小僧への捕繩を諦めやうとする、友情、法と義理が人間治郎吉に絡んでゆく人情物語、阪東好太郎、北見禮子、久松三津枝主演の外堀正夫、山路義人、風間宗六、岸井哲等が出演してゐる

▽米モノグラフ社「怪人ブリーム博士」フイル・ローゼン監督、兇悪なる殺人鬼が當局必死の捜査網を嘲笑して次から次へと殺人にと急ぐ悪の巷は不氣味な謎を包んで影なき怪人が跳梁する驚慄篇、シエイラー・テリー、ライオネル・アトウイル主演

豐劇寫眞替り

豐樂劇場廿九日よりの番組は左記東寶全プロの二番線二本立である

▽東寶東京「見世物王國」古川緑波の原作を坂田英一が脚色、松井稔が演出に當つてゐる、ジンタのかん高い哀調に包まれたサーカス生活を描き故郷離れて流轉する少女達の裏返しの人生を奏でる東寶調濃き物語、藤原釜足●岸井明のじやがたらコンビに大川平八郎、神田千鶴子を配し古川緑波特別出演の外松井源水始め浅草の藝人達が出動してゐる

▽東寶東京「江戸ッ子健ちやん」朝日新聞に連載された横山隆一作漫畫を岡田敬が映畫化した明朗子供物語主役健ちやんにエノケン第二世榎本英一君、角帽のフクちやんに中村正常氏のお嬢さんナカムラ・メイコが扮してエノケンが特別出演する

▽ドレミハ大學生△ 東寶東京作品、ユーモア派とバーバリズムが衝突した結果、岸井、藤原のコムビが角力に、ラグビイに大混線ぶりを演ずるといふ唄とお笑ひ、伊馬鵜平、阪田英一のシナリオにより矢倉茂雄が演出する、江戸川蘭子、神田千鶴子の御兩人が美しい聲の助演、帝都キネマ三十一日封切

三浦環女史の半生を描く 音樂映畫化

傳記映畫擡頭の折柄、今度は世界的オペラ歌手三浦環女史の半生が映畫化されようといふニユース—三浦女史の傳記映畫は、嘗て海外輸出を目的として、國際文化振興會により製作計畫を樹てられたが、例の六代目菊五郎の「鏡獅子」の失敗から中止となり、今日に至つたところ、今度東寶がこれに着目し、南部邦彦氏の原作に成る「三浦環の半生」(假題)を映畫化すべくプランを進めてゐる、この映畫は環女史の少女時代から次第に名聲を得て世界的歌手となる迄を描くもので、三浦女史に扮する適當な女優は東寶プロツク内より物色し環女史は後年の獨唱會場面に自ら出演、更に「蝶々夫人」「椿姫」など得意の歌を吹込む豫定で正式契約が纒まれば六月より撮影開始の筈である

白光、徐聰東和商事と長期契約

日支提携映畫「東洋平和の道」は愈よ完成し試寫の結果、各批評家S・Y幹部によつて日本映畫稀有の傑作として激賞されたが、殊に主役の若き農民夫妻に扮する白光および徐聰の演技は堂々一流スターに伍すべきものがあり、當人たちも將來映畫スターとして精進することに決心したので東和商事では彼等の希望を達成させるために、映畫スターとして專屬契約を結び、來るべき第二回日支親善映畫にも活躍させる豫定である

波蘭へ「勤王田舍侍」輸出

東和商事の「東洋平和の道」がブラジルから註文を受け日本映畫の海外新市場開拓が喜ばれてゐる折柄、今度は新興作品「勤王田舍侍」のポーランド輸出契約が纒つた、同映畫は昨年五月新興キネマが丸の内松竹劇場に諸外國外交團を招待試寫會を開催、當時武士道映畫として外國人に喜ばれたものであるが以來ポーランドのケージンゴール氏と新興キネマとの間に同映畫の輸出計畫が進められこの程漸く輸出契約が成立したのである尚新興東京撮影所で目下製作中の「愛國行進曲」「母の魂」等も完成次第輸出される模樣である

忠臣藏　日活東西總動員 日活更生記念百萬圓 近日堂々公開 新京キネマ

米國で二本立が流行

輸入禁止で洋畫饑饉のわが國では新版上映や一本興行が屢々出現してゐるが、最近のアメリカ興行界では「ダブル・ビル」(二本立興行)が各地常設館で行はれ、主要都市でも採用してゐる館がある、ボストンではメトロポリタンが一本立で、他のボストン、オフイウム、パラマウント等の各劇場が二本立を行ひ、市俄古はシカゴ、ギヤリツク、オリエンタル、パレス、ルーズベエルトの各座が一本立に實演を採用、ロサンゼルスのワーナー、パラマウント、パンテージ、ヒルストリートの各座は二本立を採用し、映畫館は漸次一本立の原則から二本立に傾きつゝある、これは二、三流會社作品が量的に増加したのと、對抗館との競爭の結果であるが、これに對し一流映畫會社は收入減を考慮、極力反對しサミユエル・ゴールドウインの如きは、二本立番組を打破するため特作品の上映時間を二時間以上のものとすれば存在價値の少い添へ物や實演の必要がなくなるであらうと主張してゐる

雜音

長春座豐樂劇場寫眞替り、松竹洋畫に東寶全プロ、とり立てゝ言ふべき程の番組ではないが叫び易いと言ひ得やう▼きのふ豐劇の最終を覗いてみるに客足衰へを見せず、こゝんところ豐劇さんの調子は恐るべきものだ▼來月は東寶、松竹系とも相當力價あるものが並んでゐるから、この調子でゆくと大いにカブリ續きさうだ▼マルセル・レルヒエの「海のつわもの」は前半好兵學校ものらしい好ましい展開を見せたが、後半クライマックス前後に到ると亂れが目立つ、原形の儘の公開かどうか判らないのだが、このために興味を失つてゐるのが致命傷である

サボテン

新京會館の小澤マリちやんが踊りながら眠つてゐるので「おい、しつかりしてくれ」とどなつたらびつくり頭を上げて「これは私の癖だから仕方ない」との御返事▼何でも午前三時頃皆がグウスラ〳〵と寢靜まり夢を何處へか飛ばしてゐる頃、唯一人部屋の隅で「皆聖人の樣な顔をして眠つてゐる、あゝ、靜寂な夜の空氣よ」とじつと冥想にふける爲睡眠不足の結果ださうな、彼女は夢遊病者か、將又哲學者か判斷は皆樣におまかせ致します▼扇芳會館の荒木糸子さんにはニツク・ネームがないさうです、彼女に言はせると「私は個性のない平凡な女性ですからでせう」と、どうして、どうして、とてもいゝ個性があります、唯おとなしい人格の中に包まれてしまつてゐるからです

東京・本郷・神誠館

舊三月　二月廿三日　三十日　二十九日　水曜　辛酉　赤口　破　軫宿

●一白の人 外に出でゝ辛勞するより內に在が利得の日庚と壬と丑が吉
●二黑の人 目上に眼服すれば運氣次第に吉となるべし乙と丁と癸が吉
●三碧の人 意外に幸福なる日なれども口舌に愼むべし庚と癸と丑が吉
●四綠の人 生氣壯なる日なれども外交には不得策なり丙と庚と丑が吉
●五黃の人 爭奮すればするほど不利に陥り易き注意日甲と巽と壬が吉
●六白の人 浮か〳〵と動き廻らば骨折り損となるべし丁と壬と癸が吉
●七赤の人 運氣は外に出でゝ強し內仕事は面白からず甲と丙と丁が吉
●八白の人 到る所敬遠せらるゝ趣あり內に居るが安全乙と丁と癸が吉
●九紫の人 人の爲めに勞を惜まざれば餘慶自ら集る日丙と辛と丑が吉

大衆の信任喪失せる 中國法幣の後退

南京陷落が支那國民政府沒落過程のエポックを劃した如く、支那中央銀行最近の上海に於ける爲替統制賣り＝法幣の外國爲替兌換＝中止は國民政府幣制崩壞の一段階と見てよからう、通貨が國力の表現である限り、これは當然の成行である

×

國民政府が一九三六年十一月三日幣制の改革を斷行し、銀通貨を大衆の手から引き上げ法幣を流通せしめた事は、同政府にとつては確かに大成功であつた、この巨額の現銀なくしては今回の戰爭は出來なかつたであらう

戰爭中にも拘らず法幣の價値を維持し、又軍器を外國から購入し得たのはこれが爲である、然し乍ら國民政府は今や十何億と稱せられる資金の大部分を消費し、又所謂長期抗戰の終局的崩壞は既定の事實として支那人間にも認められるに至つた、その結果爲替賣買の蔭に隱れて資本の外國への逃避は愈々增加し、加ふるに北支の中國聯合銀行の創設により法幣の上海方面に流入するに至つたため遂に今回の措置を採るに至つたのである

×

即ち國民政府財政部は三月十三日突如外國爲替管理辦法及び同購入規則を公布、翌十四日より上海に於ける法幣の外國爲替兌換を中止するの已むなきに至つたがその辦法要旨は左の通りである

一、外國爲替は三月十四日以降專ら漢口にある中央銀行本店に於て賣却す、但し同行は便宜上香港に出張所を設け、これを取次がしめる事を得

一、正當なる用途の爲め外國爲替を購入せんとする銀行は直接本店又は香港出張所經由で申込むべし

一、中央銀行は申請書を審査の上、對英一志二片半の基準で外國爲替を賣渡す、右申請は毎木曜日、許可通知を翌金曜と定め實需以外の思惑的需要はこれを取締る

而して右聲明は、斯くの如き措置を執るに至つた理由として左の如く述べてゐる

北支聯合準備銀行の兌換券發行は支那法幣を害し、同時に外貨を獲得せんとするものである、故に法幣の準備を維持し信用を保持する爲めに今回の措置を執らんとするものである

國民政府今回の措置は新政權の工作進步に基く政治的壓力並に財政の急迫によるは勿論であるが、同時に北支政權に對する全幅的抗戰とも見られ頗る注目される、即ち中央銀行の爲替業務は今後上海を離れて、漢口及び香港に於て行はるゝこととなつたとは言へ上海に於てもイギリス系香上銀行をして統制に當らしめつゝあり、この事は次の點にて重大な意義を有してゐる

即ち中央銀行にあつては、法律上法幣に對して外國爲替を賣却する義務を負ふが香上銀行の場合に於てはその義務無く、斯くて北支より流入せる法幣に對して爲替兌換の義務を回避せんとしてゐるもと見られるのである

×

勿論國民政府今回の爲替管理を以て直ちに法幣の崩壞と斷定することは尙早である、何故なれば、法幣の崩壞はこれに代る通貨の尙存在しない今日にあつては、上海財界の混亂を意味するもので、同時に莫大な投資を有するイギリスとしては忍び難い所であり從つてイギリス系銀行の支持は當分續くものと見なければならぬ

故に今日迄のところ、尙「金融戰線縮小」の範圍を出でないが、同時に法幣に對する支那大衆の信任を喪失し、延いて新通貨への待望を昂めて行くであらうことはこれ亦容易に想像し得る所である

中國聯銀各地支店 四月十日一齊開業

【北京廿八日發國通】中國聯銀では濟南支店の開設に引續き青島支店の開設準備を進め支店長謝祖元氏を同地に派遣したが更に石家莊、唐山支店設置の準備を急いでをり何れも四月十日には一齊開業の豫定である

人氣浮動

【上海廿八日發國通】爲替市場は午後も依然混沌狀態を續けてゐるが、ベルギー銀行等を中心に依然買進んだ向が利喰賣りに出てゐるのと月末支拂關係の支那弗需要があるためにレートは急反撥し銀行の賣相場は對英十一ペンス半對米二十三弗四分の三見當まで回復對日も八十一圓丁度賣りと午前の七十六圓に比し五圓方の急反撥となつた、尤も市場狹隘なる爲め小額の賣物によつてレートは急反撥する有樣で午後の反撥氣勢を以て市場の低落步調に變化を生じたものとは見られぬ人氣の動搖に伴れ今後もかゝる神經過敏た高下を繰返すべしと豫想されてゐる

上海爲替市場混沌 外銀建値引下げ

【上海廿八日發國通】上海外銀の建値引下げにより爲替市場の人氣は一段と惡化し、各方面とも前途見透し全く混沌たる狀態を現出してゐるが、この建値引下げによつて從來外國爲替銀行と國民政府との間に存續してゐた法幣價値支持の紳士協定は遂に事實上拋棄されるに至つた、すなはち從來より外銀は對英一志二片十六分一（對米はこれを基準としてのレート）以下では外貨を賣應せず、もつて法幣價値の崩落防止に協力し、漢口政府の新爲替政策樹立後も引續きこの方針を堅持し前週末まで一志二片十六分一のレートをもつてマーチャントに外貨を賣つて來たのであるしかし爲替市場に於ける一般の人氣は漢口政府の爲替統制、法幣の前途に對して極度に悲觀的で爲替相場は續落の一途を辿り爲替の賣相場と市中相場との間に甚だしき懸隔を生じたゝめ外銀も遂に紳士協定による爲替市場支持の方針を拋棄するのやむなきに至つた、しかも外銀建値變更は爲替市場の低落に更に拍車をかけることゝなり外銀方面では對英一志丁度見當のレートを維持すべしと期待してゐるが、これも單なる希望にすぎず爲替ブローカー方面の空氣は極度に悲觀的でレートは對英八片見當までは崩落のほかなしとの觀測が行はれてゐる

石景山製鐵所 日鐵が經營

【北京廿八日發國通】石景山の製鐵所は過般來興中公司が復舊工事を急ぎつゝあつたがこのほど日鐵によりこれを繼承し北支經濟建設材料自給確立の建前から新たにコークス工場をも設置して銑鋼一貫作業を行ふことゝなり派遣軍最高顧問平生釟三郎氏は歸國に先立ち二十七日午前日鐵會長の資格で同製鐵所の實地視察を行つた、北支の製鐵業は北支建設材料自給確立の建前をとつてゐるので將來は北支開發會社の直系子會社が設立さるゝものとみられるが、差當りは日鐵の手によつて經營に當らしめ新製鐵會社設立の曉にこれを分割移轉せしめる方針である、日鐵は近く操業を開始するが一同製鐵所の規模は左の通り

一、年產八萬キロトン

一、熔鑛爐二基により一貫作業をなす

一、原鑛は龍烟鐵鑛の供給を受く

一、コークスは國民政府當初の計畫であつた石景炭礦地元製造を變更し石景山にコークス工場を設けて井陘無煙炭の供給を受けて製造する

一、右に要する資金三百萬圓は日鐵の運轉資金をもつて賄ふ

有望視さる柞蠶業 國營檢査部を 營口、安東に設置

年產一千萬圓に上る滿洲國內の柞蠶糸は綿糸布飢饉の深刻化につれていよ／＼その需要を增し重要輸出品として前途有望視されてゐるが產業部當局では今回柞蠶糸の品質改良ならびに取引の適正を期するため重要物產國營檢査處法に基き國營檢査所を營口、安東の兩地に新設するに決定した營口檢査所は現商工會議所跡に設立することになつてゐるが兩地とも本年出廻期より業務を開催する豫定である、これが實現により柞蠶業の發展に拍車を掛けるものと期待される

五十子農務司長歸任談

產業五ヶ年計畫について國際收支適合の見地から大豆の積極的增產をはかることは私の渡日するときにすでに根本方針が決定してゐたが、目下增產の數量なり方法なりについて滿洲國において鋭意研究を進めてゐる、增產の方法は第一に耕地面積の擴張によるべくそのためには低利資金の貸付を行つて二荒地の開拓を行はねばならず同時に奬勵の一助として大豆の價格についても適當の政策を講じねばならない、品種の改良についてはまだ北滿にはまだ相當其餘地があると思ふ、勞働力についても昨年中に農作物の作付面積が約五十萬町步を增加してゐることから推してさして心配はあるまい、輸出奬勵策としてはまづドイツその他外國の實情をもつとよく研究することが第一の仕事だ

×

農事合作社問題については日本でも實情を說明し意見の交換も行つて來たが、昨年度において始めてのことではあり若干農民の不評を招いた結果になつた點もあるかもしれないが、結局農業政策は農民の生活安定を第一に置いて進めなければ出來ないのであり、この意味において從來の「增產遂行」から「農民生活安定」へ、即ち物中心から人中心へと重點の置き方の變化といふことは或る程度必要かもしれない、しかしながらそれによつて物即ち五ヶ年計畫の農作物增產の內容に變化を來たすやうなことはなく、たゞ適地適作の檢討と農產物買上げ値段についての研究を深くしなければならない、要するに農民が作り得るやうに仕向けることが必要で强制的に耕作を命令することは絶對に避けなければならない

電々定時總會 中田技術部長 新取締役選任

滿洲電信電話株式會社では廿九日午前十時から同社內に於て定時總會を開催、昨年度決算報告利益金處分を承認した後左の如く人事の改選を決定した

山內前總裁及び井上前取締役に對する退職慰勞金に就ては總裁に一任することを決定した

取締役井上乙彥氏の北支行きに依る辭任につきその後任に技術部長中田末廣氏を擧ゑ任期滿了の監査役、白片山、中川の三氏は重任

爲替管理法令の改正に付て（上） ＝經濟部當局談＝

今回爲替管理に關する經濟部令を改正して、卽日施行することになつたが、本改正の趣旨は在外財產に關する規定を整備する他、不要許可限度を引下げ、又銀行の爲替取引に對する取締を强化し、以て產業五箇年計畫の遂行に伴ふ生產資材の輸入增大に備へんとするものである、尙從來は滿洲國及關東局の二重許可を必要とする場合が多かつたが關東局と協力し、之を單一化する爲制度の改正を行つた

改正要點

一、爲替取引に關する取締緩和

1、外國に於ける滿洲向圓爲替買入の取締緩和

在外資金の取寄を支障ならしむる爲外國に於ける滿洲向（關東州を含む）圓爲替の買入の取締を緩和す

2、賣爲替の相殺を目的とする圓爲替買入の取締

右に依り海外に於ける圓爲替の買入れは原則として自由となりたるも賣爲替買戾しの爲の圓爲替買入れは許可を必要とす

二、1、在外財產に關する取締

在外外貨證券の處分の制限

2、在外財產の處分の制限

3、在外財產の取得の制限

卽ち外國に於ける不動產、船舶、鑛業權、森林伐採權又は工業所有權の取得を制限

三、外國居住者に對する信用供與の取締

四、輸入に關する不要許可限度の引下げ

從來輸入に際し無爲替輸入及輸入代金決濟の爲の信用狀取得、爲替買入、委託支拂等は貨物の價額が一月を通じて千圓以下の場合は許可を要せざりしものを月額百圓に引下げしこと

五、外國爲替銀行の爲替取引其の他に關する取締

從來外國爲替銀行に對しては外國通貨、外國爲替及對外爲替の賣買、外國資金及委託支拂、外貨債權の讓受、證券の取得、外貨證券の輸入等の取引又は行爲に付特例を設けて不要許可事項とせしが今般之を要許可事項とせしこと

六、滿洲國、關東軍雙方の許可の單一化

爲替取引其の他の行爲等については一般の便を圖る爲行爲地に於てのみ許可申請を爲すを以て足ることゝしたること

卽ち滿洲國內に住所を有する者の關東州內に於ける取引又は行爲に付ては關東局の許可を要するも滿洲國の許可を要せざること

尙爲替取引に付關東州の許可を受けて滿洲國內へ無爲替輸入をなす場合又は滿洲國の許可を受けて關東州內に陸揚する場合は何れも滿洲國又は關東局の無爲替輸入の許可を必要とせず一方の爲替取引に關する許可のみを以て足ること

部令第十三號

康德四年經濟部令第二十三號爲替管理法に基く命令の件中左の通改正す

康德五年三月二十九日

經濟部大臣 韓雲階

一、第三條第三號中「賣買」を「賣却」に改め同條第五號を第六號とし第四號を第五號とし第三號の次に左の一號を加ふ

四 外國通貨を對價とする外國爲替たる圓爲替の買入にして賣爲替の相殺を目的とするもの

二、第五條に左の一項を加ふ

康德五年三月二十八日に滿洲內に在りたる外貨證券又は第十一條第一項の規定に依り適法に輸入したる外貨證券を本令施行地內に於て取得する場合には前項の規定を適用せず

三、第五條の二 經濟部大臣の許可を受くるに非ざれば滿洲外に在る外國の外貨證券を處分することを得ず但し第十八條第一項の規定に依り支拂期日到來後に賣却する場合は此の限に在らず

四、第九條 經濟部大臣の許可を受くるに非ざれば外國通貨を以て表示する地方債若は社債を發行し又は滿洲內若は日本國に在る財產を擔保として滿洲外に於て外國通貨を以て表示する借入金若は圓を以て表示する滿洲外居住者よりの借入金を爲すことを得ず

五、第九條の二 經濟部大臣の許可を受くるに非ざれば滿洲外居住者の債務に付擔保を供することを得ず但し第五條の二の規定に依り許可を受け滿洲外に在る外貨證券を擔保に供する場合は此の限に在らず

六、第十三條第三號中「千圓」を「百圓」に改む

商況欄 二十九日前場

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅三片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	一九片八分五
同先限	一九片一六分五
紐育銀塊	四三仙四分三
孟買銀塊	五〇留比八分一

▲紐育株式

品目	相場
スチール株	四四弗八分一
アナコンダ株	二六弗八分一

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	八六仙八分一
七月限	八二仙八分三
九月限	八三仙八分一

▲紐育棉花

限月	相場
現物	八仙七九
五月限	八仙七三
七月限	八仙七八
十月限	八仙八三
十二月限	八仙八四
一月限	八仙八五
三月限	八仙九一

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一六五留比八分三
オームラー	一四八留比二分一
ベンゴール	一三七留比四分一

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青筋	二三留比六分一
鐵筋	二〇留比四分三

▲外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗九六仙六分九
米日爲替	二八弗九二仙
米支爲替	三四弗〇〇
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一片二分一
印日爲替	七七留比二分一

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
紐育向	二八弗八分七
倫敦向	一志二片〇〇

阪神爲替

品目	相場
對米賣買	二八弗六分一

各地株式市況

對英賣買 一志二片〇〇 三二分一

▲東京株式（短期） 寄付 大引

▲大阪株式（短期） 寄付 大引

▲大連株式（短期） 寄付 大引

各地商品市況

▲大阪綿糸 ▲大阪棉花 ▲大阪人絹 ▲大阪期米 ▲橫濱生糸

各地特產市況

▲新京 ▲大連

靑春の宿 （上演上映） 須藤鐘一作 榮谷宰二郎畫

（一六九）

愛憎二筋道（四）

速水さん。

僕はあなたにお願ひしたいのです。僕が、岡見から大金を詐取した動機、幸子を誘拐した動機、そして、岡見に對する要求したことを（それは、神かけてちかひますがこの手紙に書いた通りです）當局の方に、そして、新聞を通じて社會に知らして下さいませんか

この手紙にも書いたやうに僕が岡見に要求したことは全財產を公共事業に寄附するならば、復讎計畫を納め娘を返す。この條件を承諾するなら、けふの夕刊に聲明せよといふことでしたが夕刊をみてみると岡見は僕の條件を受けいれぬばかりか出鱈目を當局に申し出たやうですから、僕は明日夕刊までの期限つきで、再度反省をうながす速達をだしました、その結果によつて、僕は、最後の態度を決するつもりでゐます、尙終りに一言したいのですが、こんどの事件は、僕の母も妹も一切關知せぬことです、いづれ、母も妹も、參考人として當局のお調を受けることでせう。がこの事は神かけてちかひます――筋が違ふやうですが萬一母や妹にも嫌疑がかゝるやうなことがあつたら、あなたの御助力が得たいと思ひます。

讓治の手紙を讀み終つたとちやうど同じ時、隣室のドアがあいて一人の靑年紳士（銀藏だつた）と外出の支度をした千鶴子母娘が出てきた。

『峰島さん――』

公平は、さう聲をかけて――あけはなしたドアから廊下へとび出していつた。

『讓治君から、僕へ手紙がきました。それについて、御相談したいのですが……』

×××

それから二時間ほどのち――十時過ぎ公平に案内された千鶴子母娘は、銀藏につき添はれて、警察部へ出頭した。

翌朝の新聞は、どの新聞も社會面の殆ど全面を費して、讓治の犯行動機を掲載してあつた。

それは、どれもが峰島讓治の舊友、大東和新聞記者速水公平氏宛に、讓治から左の意味の書信が來た。

といふやうな書きだしで、心なしか、同情ある筆致で、讓治の手紙の內容が、ほとんどそのまゝ掲載されてゐたのである。

尙、その記事について、讓治の母と娘とが、警察部に出頭し、參考人として訊問を受けたのち、藏屋の某氏宅に引取つた――といふことも書いてあつた。

藏屋の某氏宅といふのは、いふまでもなく林田邸である匿名にしたのは、記者諸君の峰島一家に對する同情からでもあらうか。

公平に伴はれ、銀藏につき添はれて、警察部に出頭した淸江と千鶴子の二人は、參考人として訊問を受けた後、銀藏にいたはられて藏屋の林田邸にはいつたのは午前一時すぎであつたが――その翌朝六時半頃であつた。

ベットにはいつたまゝ、新聞を見てゐた銀藏は、女中のあわたゞしい聲に、ベットから飛びおりた。

『若旦那樣、峰島さまから、お電話でございます』

意外である。が、銀藏は、すぐに思ひあたつた。

けさの新聞に

『曜子急用あり、電話せよ銀――』

さいふ廣告を出したのだがそれについて曜子と一緒にゐる讓治が、電話をかけてよこしたものに違ひない。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價(一部五錢 一ケ月壹圓 税一ケ月拾五錢) 廣告料金(普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢)
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話(編輯局專用③三二二五 營業局專用③三二〇〇)
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

ペルー國防共參加
滿洲國承認も實現か

【東京國通】南米ペルー國政府は過般スペインバルセロナ政府と斷交する旨宣言したが、廿八日最も確實な筋への入電によれば、同政府は愈よ近くフランコ政府を承認し防共陣參加に決定した模樣で、同國の滿洲國承認もやがて實現するのではないかと期待されてゐる

ソ聯外蒙古軍を動員
蒙疆國境に集結
事態重大化の形勢！

ソ聯政府は支那事變を契機として一變した蒙疆地域の新事態に對應するため、外蒙古軍を國境方面に動員し防衞軍の强化を圖り、蒙疆地帶との接觸面たる外蒙國境並に滿蒙國境方面に防衞陣地の構築を開始し蒙疆接觸面たる外蒙古の外廓は既に陣地の構築を完成した、右防衞陣地線には四キロ每に二百名の外蒙古軍並に裝甲自動車及び戰車隊を配屬せしめ、更に十キロ每に防衞部隊駐屯所を置き有力な航空部隊を有する機械化部隊を配屬し赤色南進勢力の據點確保に狂奔してゐる、一方ソ聯軍は外蒙古軍の國境方面動員により手薄となつた庫倫、桑貝子達里崗岳方面に有力な赤軍部隊を動員し國內警備に當らしめてゐるが、最近外蒙古政府が國境方面に動員配備した兵力は步兵部隊約五萬、騎兵部隊五ケ師團、砲兵二ケ師團、飛行部隊四ケ聯隊、自動車部隊五ケ聯隊、通信隊一ケ部隊、工兵二ケ師團の多きに達してゐる、右の如く外蒙古軍の國境方面集結により蒙疆方面の事態は益々重大化するに至つた

黄河々畔禹門口附近の敵トーチカ、河を中に對岸は陝西省の敵陣地

南雄を急襲

【上海廿九日發國通】わが海軍航空隊は廿八日午前十一時廣東省北部の南雄を急襲空中戰を交へることなく飛行場に進入、防空砲火を冒しつゝ飛行場格納庫に巨彈を投下、これを粉碎、附近にあつた軍事施設に對しても有效適切なる效果を收め全機無事歸還したまた他の一隊は同日粤漢線を襲擊し軍用貨車五十輛、機關車一臺を空中に吹上げ、線路鐵橋等を爆擊木ッ葉微塵に粉碎した

殊勳六部隊
上聞に達せる

【東京國通】上海方面で樹てた偉勳に對して軍司令官より感狀を授與され畏くも上聞に達せられた小野、高木、高橋、加藤、柵橋、大宮各部隊に對する榮ある感狀が廿八日大本營陸軍部から發表された

▲小野虎治部隊

▲高木部隊

以上は十一月十三日徐六涇口右岸地區に敵前上陸し敵の前線陣地を突破しつゝ急追、全隊に先んじ虞山頂を占領す

▲高橋清伍部隊

九月上旬呉淞上陸、寶山城月浦鎭及び羅店鎭附近の戰鬪に參加し堅陣突破の功を奏す

▲加藤一勝部隊

九月下旬上海上陸後走馬塘クリーク敵前渡河作業敢行に成功更に南京攻略戰に下關停車場を占領せり

▲柵橋部隊(その他機關銃、步兵砲若干)

十月六日蘊藻濱クリーク上流地點で敵主力陣地を攻擊死傷日を逐うて增加せしも團結力強く屢々敵前クリーク渡渉突擊を試み任務を達成せり

▲大宮部隊

十一月廿九日江陰要塞の攻擊にあたり夜襲を一夜四回に亘り決行、敵をして要害を拋棄せしむ、次いで十二月十六日六合を占領して孤軍よく敵の退路を遮斷せり

支那人兇漢五名
王克敏氏を狙擊
幸ひ微傷だになし

【北京廿九日發國通】廿八日午後六時二十分臨時政府行政委員長王克敏氏は友人の山本榮治氏と同乘自邸への歸途崇文門大街の電車通りに差しかゝつた際、煤渣胡同出口と東堂子胡同入口に潛んでゐた五名の兇漢が王氏の自動車を目がけてモーゼル一號拳銃を數發亂射した、彈丸は自動車のエンジンに二發命中、他の二發は窓を貫いて車內に飛込んだが王氏は無事、山本氏は顏面および左肩に輕傷を負ひ直ちに同仁病院にて寺田博士の應急手當を受けた、兇漢は當日煤渣胡同出口に二名、電車路を距てゝ東堂子胡同入口に三名潛伏してをり、彼等は何れも藍色の支那服を着し約三十分も前から自動車を二毫置いて附近に待ち伏せ王氏の自動車をつけねらつてゐた模樣で、王氏の自動車が折柄走り來つた電車に遮ら自動車の速力を弛めた際を見て拳銃の亂射を浴びせたもので王氏の自動車はその儘崇文門に向つた電車通りを疾走して來た二人組はさらに自動車で跡を追ひつゝ數彈を放つたが命中せず何れかに逃亡した、急を聞いた日本憲兵隊は支那側公安局と協力犯人搜査中である【寫眞は王克敏氏】

不逞の徒は徹底的處斷
臨時政府發表

【北京廿九日發國通】中華民國臨時政府發表＝三月廿八日午後六時廿分頃行政委員長王克敏氏は自動車に友人山本榮治氏と同乘し北京市東城の煤渣胡同街道を東進中米市大街電車道に差しかゝるや同地に待ち伏せた數名の暴漢のため街の兩側より拳銃をもつて數發射擊を受けたるも山本氏は上膊部、顏面に輕傷を受けたるのみにて王行政委員長は幸ひにして無事なりき、右の事件は逐日進展を見つゝある更生新中華の平和的建設を阻害せんとする叛逆行爲にしてそゞ罪斷して許すべからず、政府はこの種不逞の徒輩に對し徹底的處斷に出づるとゝもに將來かくの如き不祥事の絕滅につき萬全の措置を講ずべし今や政府の基礎はいよ／＼固きを加へ今次事件により微動だにするものにあらず、北支全領民意を安んじて各業を勵みよく政府の意を體して治安確立に協力せんことを望む

王克敏氏語る

【北京廿九日發國通】兇漢に襲はれた中國臨時政府行政委員長王克敏氏は廿九日外交大樓で內外記者團と會見したがその態度は平靜と少しも變らず顏面に微笑を浮べながら極めて快活に左の如く語つた

昨日思ひがけぬ事件があつたが、私はお蔭さまで何もなかつたから何卒御安心ありたい、たゞ私が衷心から殘念に思ふのは私の親友の山本氏が私の身代りとなつて負傷を受けられたことで目下同仁病院で加療して居られるが、その經過は良好で生命に別條はないから何よりだと思つてゐる

山本氏も生命別狀なし

【北京廿九日發國通】兇彈を受けながらも決然身をもつて臨時政府の首班王克敏委員長をかばつた山本榮治氏(五六)は輕傷を負ふて三條胡同同仁病院病舍十八號に入院、寺田外科醫長の手當を受けてゐるが、同氏は支那の政情に明るく特に南方事情に精通して久しきに亘り王氏と交友あり、負傷程度は左顴骨部挫創、險の下骨折および右上膊骨折貫通銃創にして兇彈二發が命中しその一彈は上膊部を貫通して衣服內から現はれ同氏の庇護によつて王委員長は微傷だに負はなかつたもので、目下の症狀は餘病を併發せぬ限り生命には別狀なく意識も頗る明瞭である

ス內亂大勢決す
スペイン全土の四分の三
既に革命軍占領

【サラゴサ廿八日發國通】フランコ軍第一線部隊は廿七日夜陰に乘じて遂にチンカ河を渡河カタロニアに雪崩れ込んだが、息つく間もなく廿八日朝來再び猛攻擊を開始し遂にフラーガ市の南方二十キロのメキネンザを占據した

【アンテイ「フランス」廿八日發國通】フランコ軍の第一線がつひに人民戰線軍の牙城カタロニア州に入つたとの報道は人民戰線の士氣を沮喪せしめ全面的敗色はすでに蔽ひ難く、兩軍の支配下にある地域を比較してもフランコ軍はすでにスペイン全土の四分の三を占領し全國四十七州の內卅三州はフランコ軍の勢力範圍に歸しこれに反し人民戰線派は僅かに十二州を支へてゐるにすぎず、殘るチーダット・レアル・ハエンの二州は內亂勃發の當初から兩軍の交戰地帶となつてをり、すでに戰亂の中心となつてゐる狀態で大勢すでに決すとの感がいよ／＼深い

カ英大使重慶へ

【上海廿九日發國通】駐支英大使カー氏は二十九日午後三時上海出帆のP・O汽船のナルベラ號で香港に向ふことになつた、同地より陸路漢口へ更に飛行機で重慶へ向ふはずで信任狀捧呈式は四月九日と豫定されてゐる

馬うろつく

【綏遠廿九日發國通】去る十七日小縮にも黃河を渡河して綏遠省托克托縣城に逆襲し來つた馬占山軍は珍らしく馬占山自ら馬を陣頭に進めて全軍を指揮してゐた事が附近住民の證言により判明した、すなはち同日午後馬占山軍二千が托克托縣城を包圍するや托克托南方二里の河口鎭の一豪家に午後五時頃小柄で貧弱な鬚を生した一指揮官が侵入し來つて居をかまへて部下から「伊軍官」と敬稱されて部隊の指揮に任じてゐたが同日午後七時岡本急援部隊の到達を知るや風を喰つて愴惶と黃河右岸の廢銀店(托克托南方十里)に逃げのびたのであつた、此の伊軍官こそ問題の馬占山その者で後でこの旨を聞き知つた岡本部隊の勇士達は口惜しがるまいことか「今度うろうろするやうなことがあつたら生捕にして日本國中見世物にして廻つてやるのだ」と張り切つてゐる

沂州城眼前にあり
沂河を渡河猛攻擊

【濟南廿九日發國通】わが軍は沂河東岸地區の敵陣地を悉く攻略、沂河を距てゝ沂州城猛攻の火蓋を切ると共にさらに長野部隊は、東北より沂州城北方地區を迂回し沂河を渡河し同方面の部落の敵陣地を擊破しつゝ廿八日沂州西方一里半の小監道、大嶺の線に進出して敵を猛攻中で、沂州城はわが軍將兵の眼前にあり、士氣頗る旺盛で今や完全に包圍態勢となつた沂州の敵は早くもわが壓迫に堪へかねて南方に潰走を開始してゐる

【青島廿九日發國通】〇〇部隊の沂州包圍作戰は完全に成功し柳行頭、鷺庄角、沂庄大嶺にわたる延長十餘里の背後陣地は廿七日までにわが手に歸し、廿八日早朝大嶺方面より敵の背後に進出した長野部隊は廿八日早くも沂州城外に達し、火力を集中して敵の牙城に肉薄中である

鐵板會匪を猛擊

【青島廿九日發國通】山東南莒縣東南方四里の案裏河に鐵板會匪四百名集結しあり、わが〇〇部隊の一部は廿八日拂曉を期してこれを猛擊し敵は死體百を遺棄して逃走した、わが方損害なし

向城の敵二ケ師
退路斷たれ混亂

【濟南二十九日發國通】向城西方廊外縣北方の敵を猛攻中であつたわが〇〇部隊は二十八日朝西南方二里餘に亘つて構築されてゐた堅固な敵陣を擊破しさらに戰果を擴張中であるが、沂州はわが包圍下におかれ向城の敵第四、五の二ケ師は臺兒莊方面に退路を斷たれさらに東西より挾壓されて大混亂に陥つてゐる

エスカレーター條項
英米援用に決定

【ロンドン廿八日發國通】英米佛三國海軍專門委員は廿九日午後英國外務省に參集、ロンドン海軍條約のエスカレーター條項援用につき最後的協議をとげることゝなつた、フランス委員を除き英米兩國委員の間においては主力艦に關してエスカレーター條項を援用する方針を既に決定し、その旨去る二十四日英米佛三國政府宛專門家會議の通牒で明示したが、英米兩國政府は右に基きいよ／＼四月一日午後エスカレーター條項援用を正式發表する模樣である、次でロンドン條約第廿五條第四項の規定にもとづき三ケ月の協議期間に入りこの期間に於て英米兩國は制限撤廢後の主力艦々型、備砲、裝甲などを決定する段取りであるが、米國は十八吋砲搭載四萬五千トン級主力艦を、英國は十六吋砲搭載四萬二千トン級主力艦の建造に着手するものと觀測される

北、中支會社の設立委員長に鄕男

【東京國通】今議會で法案の通過成立をみた北支開發ならびに中支振興兩國策會社は近く法律の公布實施とゝもに同法附則に規定された設立委員を任命し直ちに設立の準備に着手する筈であるが、政府は右設立委員長として鄕誠之助男の出馬をうながすべく交涉を進めつゝあり、廿九日歸京した北支派遣軍最高顧問平生釟三郎氏とも打合せの上何分の決定をみる模樣である

平生顧問東京着

【東京國通】北支派遣軍最高顧問平生釟三郎氏は二十九日午前八時東京驛着歸京した

草間理事長、張總理に就任挨拶

滿洲採金會社新理事長草間秀雄、新理事鐘滿南氏は就任挨拶のため廿九日午前十一時國務院に張總理を訪問した

韓經濟部大臣等銀行大會出席

卅日奉天において開催の全滿銀行大會出席の韓經濟部大臣富田興銀總裁は廿九日午後二時十分發あじあで出發、田中中銀總裁は撫順炭礦視察の上大會に出席するため廿九日朝の日滿連絡機で奉天に向つた

國政記者團見學

國政記者俱樂部では昨年十二月來實施されてゐる街村制の實狀を視察するため鐵嶺及び奉天に旅行することとなり一行は二十九日午前十時新京發先づ鐵嶺に向つた、三十一日午後八時四十五分歸京の豫定である

滿洲國人訪日團第二班出發

奉天鐵道局、ジャパン・ツーリスト・ビューロー滿洲支部共同主催滿人訪日視察團新京第二班一行三十名は五色の滿洲國旗を翳して廿九日午前十時發はとで出發朝鮮經由美はしの國日本へと向つた

宮崎中學旅行團

宮崎中學校修學旅行團四十名は廿九日午前八時着京、同九時二十分哈市へ向つた、卅日午前七時十分哈市より歸り國都見學をして午後四時四十分發で離京する

松村班長歡迎宴

關東軍記者クラブでは新任松村新聞班長の歡迎宴を廿七日午後七時より曙で開催、軍より小林高級副官、中嶋大尉出席して盛會裡に十時散會した

上加世田稅關長

新任新京稅關長上加世田成法氏は讓任挨拶のため二十九日午後來社した

コ伊公使訪日

駐滿イタリー公使コルテーゼ氏は東京駐在アウリッチ大使と事務打合旁々目下來朝中のファシスト使節團一行の來滿打合のため二十九日午後出帆の吉林丸で內地に向つた

三浦前關東局司政部長赴任

關東州廳長官に榮轉した前關東局司政部長兼大使館敎務部長三浦直彥氏は四月四日午前十時のはとで出發赴任することになつた

人事往來

▲川島三郎氏(熱河鐵山)廿九日來京國都ホテル ▲高橋弘氏(昭和製鋼所)同 ▲藤宮惟一氏(會社員)同 ▲島村善次郎氏(同)同 ▲宗像金吾氏(同)同中央ホテル ▲森岡金藏氏(同)同 ▲鉢卷正壽氏(同)同 ▲立石章之氏(鑛業)同

在滿獨墺人の合邦人民投票

去る三月十四日インカート墺太利首相がラヂオを以つて公布した新憲法即ち千九百三十八年四月十日獨逸共和國との合邦に關し國民投票を擧行することに基く獨墺合邦人民投票は本國はもとより世界各地一齊に執行することに決定した、滿洲では四月十日在滿獨墺人全部大連に集合投票を行ふことになつた

第六次移民來滿

拓務省第六次移民群馬縣班の九十一名は同縣屬花岡幹雄氏に引率され廿九日入港の鴨綠丸で來滿、少憩のゝち一行は廿九日午後一時四十分發列車で北行入植地濱江省綏倫に赴いた、なほ今年度群馬縣移民は三百名であるが、內九十一名は去る二日既に濱津經由で入植したもので年齡廿才より四十才までの元氣盛りのものばかりである

內地の旅へ
商業生徒出發

新京商業學校生徒內地修學旅行團百廿名は卅日午前零時發列車で初めて見る母國の樂しみを胸に描いて元氣一杯で出發朝鮮經由で一路內地へ向つた、一行は大阪、奈良、伊勢、名古屋、東京、日光、京都、別府、阿蘇と歷遊、海路で四月十九日新京歸着の豫定

近頃よく用ひられる言葉に時局に鑑みるといふのがある▼つまり何でも彼でも時局のためだといつて事を行ふの謂である端的に言へば時局をダシにすることである▼ダシにして善いこともあらうが惡い方が多いやうだそこに時局濫用の意味の含まるゝ所以も存するのである▼第一線の皇軍は勇戰奮鬪血河屍山の間に苦鬪をつゞけをり▼國民は銃後の護を固めるに臥薪嘗膽をも辭せずとしてゐるのである▼その重大時局を或る私の目的のために濫用することは全く以つて言語同斷である▼勿論今誰が何者が時局に便乘して或は善いことを行ひ或は惡いことを遂行してゐるといふのではない▼口をついて出るその意の何を目標とし何事を指してゐるかを詮索する前に先づ以つてその言葉の持つ意味に不快を感ずることが多いのである▼不純なる時局利用は擧國一體を妨げとなるに過ぎぬことを警戒するものである

社說　支那援助の方針

北支並びに中支において新政權が成つたのについては、これに對する援助といふことが當然に考へられねばならぬ問題である。

たとへば經濟問題の如き、現に色々なことが考へてやつてみるやうであるが、政治的な問題においても、また文化的な問題でも、無論さうした方針が立てられねばならぬのである。しかしまた、それらのものが各部門、各部門、個々別々の考へ方によつて行はれては困るのである。新支那を建設してゆくには、各部門が一致して行かねばならぬのである。各部門、各部門、それ〴〵その權威者を動員してそれらが綜合的に現地に乘り出して行かねばならぬのである。

甲の者と乙の者との言ふことが違つてゐたりしては、日本は一體どうする考へであらうかとの危惧が起るであらう。新支那を建設する上において日本はどうしてもこれだけのことはやる、やる上は擧國一致でやるといふことが肝要なのである。

而して向ふを相手としてやる以上は、先づ第一に口をきくものは外交機關であるからこの問題の如き大いに考慮を要するであらう。また軍事上の事を考へてもまだ非常になすべきことが多い筈である。北支だけについて言つても、日々の報道で散見するやうに治安維持といふことが仲々大仕事であると思はれる。たとへ日本軍の多數が北支に入つてゐても、第一線においては眞正面の敵を擊破せねばならない。そのほか敗殘兵、匪賊がまだ相當居るのである。それ等も現在の新政府は未だ無力であつて、それらを取締める機關を持つてゐないのである。この治安維持に努めるといふ點だけでも軍としては非常な重荷である。かりに敗殘兵などが歸順して來るとしても、さういふ者は歸順して來たからといつて直ちに使へるかといへばこれは仲々安心は出來ないであらう。而して支那には地方每に從來持つてゐるところの保安隊の如きものがあるが、これも現在の情勢ではやはり匪賊になつて居ると見られる。これらが次第に日本軍の宣撫工作によつてこちらの意思も分り、新政府の執る政策も分つて來るに從つて歸順して來るやうになれば斯ういふのはその地方の治安維持のためにも使用出來るのである。斯うして彼等に職を與へてやれば先づそれによつて治安維持の一方法となる譯であつて、それだけの手を盡してやれば將來治安の維持に運用してゆくことが可能であらう。要するに大局高處より新政權に臨み、最も效果的な方策を以て對處してゆくことが大事なのである。このことを強調したいと思ふ。

中支に於る交通網　整備方針決定す
關係當局と民間側の協議

【上海廿九日發國通】中支經濟復興にとつて交通網の再建は焦眉の急務とされて居り新らしく誕生した中華民國維新政府も速かに交通網の整備に努めるものと見られてゐるが我方としても關係當局及び民間關係方面で種々對策を協議した結果航空路、鐵路、航路及び自動車路に亘つて左の如き交通網整備方針を決定した

一、空路　日本航空輸送會社と惠通公司の提携によつて上海―福岡、上海―青島―大連―天津間に一週三回の定期空路を開設するほか、上海―南京、上海―杭州間、南京―杭州間に每日一回の定期航空を行つてゐる

二、航路　上海―日本間、上海―大連―北支間、上海―臺灣間の定期航路には日本郵船、大阪商船、大連汽船、日淸汽船の船舶增配が行はれ又上海―南京―蕪湖間の長江航路には日淸汽船が月六回の定期航路を開いてゐるが、更に中支の動脈ともいふべき內河航行については新に設立した江浙輪船公司が上海を起點に平湖―杭州―湖州―靑浦―鎭江―蘇州および常熟を終點とする七個の航路を開設、今後鎭江―揚州―大興間および南京―六合間等に航路開設の準備を進めてゐる

三、鐵路　京滬（上海―南京間）滬杭甬（上海―杭州間）蘇嘉（蘇州―嘉興間）津浦江南（南京―蘇湖間）淮南（浦口―蚌埠間）の各鐵路はわが井上部隊および鐵道省派遣員の急速なる修理によつて復興し上海―南京間上海―杭州間に每日二回の定期列車を配するほか上海―南京間はガソリンカーを開始した

四、自動車路　上海（租界外）および南京市內のバスは興中公司の手により上海―龍華―崑山―および蘇州間の定期バスは大直公司の手により運行されてゐるが大直公司はさらにこの路程を無錫に向つて延長する筈である

滿洲國發展の先驅たらん！
電々株主總會に於る廣瀨總裁挨拶

滿洲電々會社總會における廣瀨總裁の挨拶要旨左の如くである

□昨年は支那事變が勃發致しましたが、わが社は直ちに必要なる人員と機材とを動員し以て北支、蒙疆の戰地に派し、通信機關の管理運營に從事せしめたのであります、社員一同困苦缺乏に耐へ危險を冒してその任務に邁進し遂には六名の殉職者さへも出すに至りましたが、派遣社員一同の奮勵努力によりわが社の特殊使命を達成し得、將來に向つて會社が克く此の負擔に耐ゆるものなることを實際に證明して大いに自信を得た次第であります

右の通り北支、蒙疆に多數の社員を派遣致しました結果として滿洲國內における社員缺員を生じ、一方事變のため通信は大いに增加して參りましたので、留りて滿洲國內にある社員も非常なる勞苦であります、現在もその狀態を繼續して居りますが、これ又一同の奮勵努力により通信の疏通に遺憾なきを得て居る次第であります、わが社は外には國防軍事に協力致しますると共に、內には滿洲國の發展に寄與すべき本來の事業に對しまして社員一同の確固たる信念と臨機周到なる對策とにより不斷の努力を續けて來た次第でありますがその營業方面に於ても大體善良なる成績を擧げ得たと信じてゐる次第であります茲にその大要を御說明致します

電信事業

先づ第一に電信事業に就き申しますと、滿洲國治安の確立產業の發展ならびに日滿間の緊密化に伴ふ通信の輻輳、從つて業務の膨脹に對應しまして局所、回線、有線、無線機械裝置等の增設、改良、擴充をなすと共に一般公衆の利便を考へまして十二年度に於ては全局所に於て和文電報の取扱をなすこととし其の他諸般の方法を講じて、電信事業經營の充實を圖つたのであります、十二年度末における電報取扱局所は六百八十五局所でありまして、前年度に較べて六十九局を增し、創業當初に較べますと實に二倍に增加しております

電話事業

第二に電話事業の現況におきましては滿洲國發展に順應致しまして着々整備擴張を圖つたのであります、即ち十二年度におきましても引續き不統一なる地方電話の買收、專用電話の整理に努め、又局舍の新設、回線の增設を行つて電話の急激なる需要增加に應ずることに努めて參りました、茲に特に申上げたいことは安東、奉天間無裝荷ケーブル施設であります、この施設は日滿間電信電話の有線連絡化を企圖したものでありまして十二年三月完成を見、その通話性能は頗る良好であります、更に朝鮮側も近く完成し新京奉天間のケーブル工事も遠からず着手せらるゝ見込でありますからその完成の曉には日滿國首都間の有線連絡通話が開始し得ることになり、通信界に一新紀元を劃するに至るであらうと思つてゐる次第であります、第三に放送事業につきまして申しますと御承知の通り滿洲國は五族協和の國でありまして人情、風俗、習慣、言語等を異にし且つ地域廣大にして一般に民度も低いと謂ふ特殊事情によりまして、放送の普及發達は頗る困難でありますが、文化の向上及び國防上の見地から考へまして、放送事業の擴充、發展を期することは頗る急務であると信じますが故にこの擴充には大いに意を用ひ今なほこれを繼續してをります

以上述べました諸事業の施設に要しました十二年度の起業費約一千萬圓のうち八百萬圓は社債發額は社內保留金によつて賄ひ、社債のうち四百萬圓は簡易保險局引受けをもつて、殘り四百萬圓は朝鮮銀行引受けをもつて發行致しましたが、何れも當時起債市場の趨勢に照し一流社債に伍し得る好條件であつたのでありますす

最後に業務收支關係を申上げますと十二年度總收入は前年度より四百萬圓餘即ち二割二分強の增加でありまして、これに對しまして總支出は前年より三百八十萬圓餘即ち二割六分の增加を來しました以上をもちまして十二年度營業狀況の大體の報告を申上げましたがこの機會にわが社の將來に關し一言申述べたいと存じます

起業計畫

昭和十三年度即ち本年度における起業計畫と致しましては時局柄緊縮方針に則り繰り延べ得るものは成る可くこれを繰り延べ、最も緊急を要するもののみ實施することに致し起業費豫算を約八百萬圓程度に留めました

而してその資金計畫としましては先づ第一に社內保留金をもつてすることは勿論でありますが、その不足額約六百萬圓は社債をもつて之に充當する方針で進んでおります、而してこの社債も四百萬圓は今月初め朝鮮銀行の引受けにて契約が頗る好條件にて成立しました、なほ殘り二百萬圓につきましては目下某方面と協議中でありますが、これも遠からず成立することゝ信じてをります

右の次第でありますが、わが社はその使命よりみて將來は電信、電話、放送と皆大いに擴充致しまして國防に遺憾なからしむると共に滿洲國發展の先驅たるべきことを期して居る次第でこれ等の事業計畫も大體腹案を樹て目下具體的研究中であり之に備ふるため差當り會社の組織機構に若干の改變を行ひ、淸新の氣を注入して陣容を整へるつもりで居ります

軍自動車化のため
運轉手屆出制度實施

【東京國通】近代戰に在つては各種兵器の進步と共に戰鬪區域の擴大、スピード化が極めて重要なので陸軍ではかねて機械化部隊の擴充徹底化を圖つてゐるが、今回の支那事變に鑑みても軍の自動車化を急速にして適材を適所に重用するため自動車運轉手の免許證を下附されたものに屆出の義務を負はすことになり、廿九日陸軍省令で公布することになつた、これによれば在鄕兵の「豫後備兵、第一、第二補充兵」全部にわたり自動車運轉手の免許證下附を受けたものは十四日以內に本籍地市町村長を經て當該聯隊區司令官宛に屆出ること、またすでに免許證を下附されてゐるものは來る四月十日以後九十日以內に屆出ることになつてゐる

新京體聯の　本年度計畫

新京體育聯盟役員の構成ならびに本年度事業計畫は左の如く決定した

▲役員構成

▲部長榮原英治、▲委員牧野正巳（司法部）野口傑（中銀）、山下宗一（經濟部）村上武一（中學）長嶋〓（警保）仲田周一（滿鐵）柴田義次（協和）本野仁治（〓）▲常務委員田島淸平、齋辰雄

▲事業計畫確定

四月十七日（日）斷郊團體競走

四月二十三日（土）斷郊團體遞走

場所　白山公園附近に選定

距離約千千米

五月十五日（日）十哩短縮マラソン競走

六月上旬　京吉驛傳競走新京出場

六月十九日（日）新京少年競技大會

十八才以下十六才迄、一〇〇米、四〇〇米、一五〇〇米、三〇〇〇米、四〇〇米リレー、走巾跳、走高跳、三段跳、圓盤投、砲丸投（12ポンド）

十五才以下、一〇〇米、四〇〇米、一五〇〇米、四〇〇米リレー、走巾跳、走高跳、砲丸（十ポンド）

六月下旬、十月上旬、陸上競技指導講習會

七月十日（日）協和會分會對抗競技會

種目、一〇〇米、四〇〇米、一五〇〇米、五〇〇〇米、ハイハードル、八〇〇米リレー、走巾跳、走高跳、走高跳、棒高跳、圓盤投、砲丸投、槍投

註　一分會より一種目に二名、一名にて三種目（リレーを除く）

入賞、入勝六等、得點、六、五、四、三、二、一

八月十四日、協和會分會リレー大會

八月二十八日、體育大會新京豫選

九月十八日、戰跡訪問マラソン大會

九月三十日―十月一日、新京選手權大會（全種目）

十一月三日、團體短縮マラソン大會

尙他都市との對抗試合選手派遣に關しては追て決定する

中央郵政局廳舍
近く增築

一日百萬近くの郵便物を扱つてゐる新京中央郵政局は局內が極めて狹隘なるため小包郵便物は富士町元頭道溝郵局跡で取扱つてゐるがすべての點に不便が尠くないので現廳舍に隣接してゐる祝町官舍は取除き增築することに決定した

滿洲ガスが
錦州に工場設置

滿洲ガス會社では豫て錦州に同社支店を設けるべく調査中であつたが、愈々諸準備全く成り市內棠明區工場地區に七萬坪の敷地を買收、總工費百萬圓を以て工場建築に着手今年秋迄に完成ガス配給を開始することゝなつた

五ケ年計畫
學校增新築
市公署百萬圓計上

最近滿洲國人兒童の向學心、學校に對する滿洲國人家庭依賴並に人口の自然增加にしる就學兒童數は急激に增加の一途を辿りつゝある。殊に新京の如く物凄い躍進過程を辿つてゐるところでは比例的にこの傾向が著しくこのまゝ放任するに於ては由々しき社會問題化さんとしてゐるので特別市公署では豫算百萬圓を計上五ケ年計畫で學校の新築、增設、移轉等を行ふこととなつた

即ち現在特別市公署管內の學級數は舊特別市百五十一學級舊滿鐵附屬地十三學級計百六十四學級で校數にして十三校となつてゐるがこれを市の總人口二十四萬、戶數四萬四千とみて全家庭の兒童の七〇%を內地の一〇〇%とみて全就學兒童數は二萬五千に達する割合になるが

本年度の未就學兒童は約二千名に達してゐる有樣で、特別市公署では社會問題としてこれを重視し本年度より百萬圓を投じ五ケ年計畫で九十二學級々增加して滿人就學兒童の增加に備へることとなつた、本年度は早速三十八學級を增加二十二萬圓を投じ一學校を新築十六學級增加、八學級增築十二學級の移轉を行ふこととなつた

產業試驗研究
機關人事

滿洲國における產業關係試驗研究機關統合の方針に基き滿鐵產業部より滿洲國へ引繼ぐことゝなつた各種試驗研究機關の職員中簡任官として任用せらるゝものは左の通り廿八日の第十二次國務院會議に於て決定、四月一日發令の筈である

獸疫研究所長

任獸疫研究所研究官　實吉吉郞　敍簡任二等

補獸疫研究所長

任獸疫研究所研究官　井上辰藏　敍簡任二等

補獸疫研究所病毒科長

任獸疫研究所研究官　小極三郞　敍簡任二等

補病理科長

任地質調查所研究官　福田連　敍簡任二等

補地質調查所長

公主嶺農事試驗場長

任農事試驗場技正　香村岱二　敍簡任二等

補公主嶺農事試驗場長

公主嶺農事試驗場農化科長

任農事試驗場技正　突永一枚　敍簡任二等

補公主嶺農事試驗場畜產科長

任農事試驗場技正　小松八郞　敍簡任二等

派在公主嶺農事試驗場辨事（勤務を命ず）

熊岳城農事試驗場林產科長

任農事試驗場技正　草間正慶　敍簡任二等

補熊岳城農事試驗場長

產業部技正（農務司特產科長）　橫瀨花兄七

依願免官（三月卅一日附）

鹿地亘漢口に現る
支那紙の報道

【上海廿八日發國通】男一人女一人たつた二人の日本人が敵都漢口にゐるといふ殆んど信ずべからざる事實が廿八日の支那新聞紙に報ぜられてゐる、該ニュースによれば全國文藝會抗敵協會が漢口において成立大會を擧行した際多數の支那人に混つて日本人の作家鹿地亘が出席、一場の演說をしたとあるも、鹿地は嘗ては左翼作家の一人として活躍した時代もあり、一昨年一月來滬、支那文學を研究、飜譯などをなしつゝあつたが、今事變勃發に際しては佛租界の故文豪魯迅宅に寄寓、八月十六日日本行の汽船の切符まで買つて避難せんとしてゐたところ、場所柄逃げ遲れるに至りその後消息不明を傳へられてゐた、しかるに間もなく香港に姿を現はし、日本人の噂の種となつてゐたが、更に最近漢口に入つたものと思はれる、彼の奇怪な行動には常に池田幸子なる女性が附添つてゐるが、この二人は何故に自國と戰ふ敗戰國支那の懷ろに入り込んだか、彼等の上海における行動ならびに現下の情勢よりみれば彼等の自發的意思によつて漢口まで入つたとは思はれない節が多々あり或は彼の交友たる支那側急進分子に自由を奪はれ半ば自暴自棄に陷り前記の行動に出たものではないかと想像されてゐる

飛行協會練習機の
命名始業式
神武節期して擧行

滿洲飛行協會新京支部に配置された世界に誇る優秀練習機獨逸製ビュッカーユングマンは過日阿部敎官が空輸し目下新京南飛行場の格納庫に雄姿を休めてゐるが同練習機の命名並に始業式は四月三日神武天皇祭の佳日をトして午前十時から南飛行場で擧行することになり阿久津主事、阿部敎官らは目下相應しい名前をと頭をしぼつてゐる、當日は式後阿部敎官が操縱して國都上空で鮮やかな高等飛行をなし午後六時から日滿軍人會館で座談會を開き昨年國都で淵催した第一回全滿グライダー大會の寫眞を上映今後の問題につき隔意なき意見の交換をなす豫定である

范漢生總領事談

【京城國通】中華民國維新政府成立の報を齎し中華民國臨時政府京城總領事范漢生氏を訪へば、氏は北支政權成立に積極的參加を表明した當時の熱情そのまゝに語る

いよ〳〵成立式をあげましたか、われ〳〵もこれに優る喜びはありません、行政院長梁鴻志氏は學識、人格とも當代支那に冠絕の政治家で、北支の賑災部長王揖唐氏とも肝膽相照し、北支中支今後の關係は期して俟つべきものがあります、新政府の要人に多數の先輩知人が据ゑられてゐますがこれは一個人としても喜びに堪へません、これらの人々の活躍によつて新興支那の前途は實に洋々たるものがあります、日本の皆樣の御援助を切望します

なほ范漢生總領事は直ちに新政府に宛て祝電を發し華々しい前途を祝福した

門專科兒小　太田醫院　新京神社南橋　電③3839

商況欄　二十九日後場

株式相場

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
滿取	—	—
新東	一六六、一〇	一六五、七〇

●大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
滿重新	七一、〇〇	—
日窯新	—	—
同品	—	—
五鐵	—	—
滿紡	三八、三〇	—
鐘新	—	—
同印	—	—
電毛	—	—
滿書	—	—
日業	—	—
電學	—	—
化	—	—
元品	八五、九〇	八五、六〇
滿重	六七、九〇	六七、八〇
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	三八、八〇	三八、四〇
滿鐵	三八、一〇	三八、〇〇
同新	一三、九〇	一三、九〇
上木	一七、〇〇	一七、〇〇
豆新	—	—

新京取引市況（廿九日後場）

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
米	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
●大豆 三月限	五六、一九	—	三九車
四月限	五七、二七	[illegible]	五六車
●高粱 三月限	—	—	—
四月限	—	—	—

手形交換高（廿九日）

六八枚　一三三、四〇二四〇一

鮮魚小賣相場（三月二十九日）

品名	最高	最低
活鯛	一六五	一二〇
氷鯛	……	……
中小鯛	九〇	六五
カスゴ	……	……
チコ鯛	二七	……
通子鯛	……	……
チヌ鯛	五〇	三〇
アマ鯛	二五	二〇
イセエビ	一〇〇	六五
車エビ	……	……
白サエビ	七〇	六五
小エビ	……	……
小アジ	二〇	一〇
マグロ	……	……
ブリ	三五	……
ヤズ	……	……
ヒラス	五五	四〇
マナカツヲ	八〇	三三
マス	六五	……
サワラ	……	……
サゴシ	……	……
スズキ	三四	三一
セイゴ	……	……
ニベ	三〇	一一
アジ	二八	二四
サバ	二八	二二
赤ムツ	二七	五五
アコウ	……	……
メバル	二八	二〇
アブラメ	二一	……
ボラ	二八	二〇
スクチ	……	……
タコ	二七	一〇
飯蛸	二八	二五
紋甲イカ	……	……
甲イカ	三五	三〇
水イカ	……	……
ヒラメ	四五	二一
カレイ	二四	一二
干カレイ	二二	……
イワシ	一八	一三
ホーボー	一〇	……
イカナゴ	……	……
コノシロ	二七	二一
コチ	二七	五五
カナガシラ	一七	一〇
オコゼ	二〇	一六
ハゲ	三〇	二七
キス	四五	二〇
ハゼ	……	……
サヨリ	……	……
アナゴ	二二	一七
ハモ	一二	一一
タイラ	一一	六
赤エイ	……	……
白魚	五〇	二七
[illegible]	一二〇	八五
[illegible]キ	六〇	四〇
貝柱	……	……
帆立貝身	三六	……
赤貝	一三	七
ミキミ貝	……	……
蜆貝	一三	八
モツク	二五	……

第五回決算公告

昭和十二年十二月卅一日現在

貸借對照表

資產之部

科目	金額
拂込未濟株金	[illegible]
通信施設	[illegible]
雜施設	[illegible]
貸金	[illegible]
未收入金	[illegible]
差入保證金	[illegible]
貯藏品	[illegible]
有價證券	[illegible]
郵便振替貯金	[illegible]
郵便貯金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
切手印紙	[illegible]
他種貨幣	[illegible]
現金	[illegible]
假拂金	[illegible]
受入證券	[illegible]
社內爲替	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

科目	金額
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
社員退職給與積立金	[illegible]
配當平均準備積立金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
特別資金	[illegible]
償却引當金	[illegible]
社債	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
未拂金	[illegible]
受入保證金	[illegible]
社員貯金	[illegible]
共濟勘定	[illegible]
假受金	[illegible]
前年度繰越金	[illegible]
本年度利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分

科目	金額
本年度利益金	[illegible]
前年度繰越金	[illegible]
合計利益金	[illegible]

之を處分すること左の如し

科目	金額
法定積立金	[illegible]
社員退職給與積立金	[illegible]
配當平均準備積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
株主配當金（年六分ノ割）	[illegible]
特別積立金	[illegible]
翌年度繰越金	[illegible]

右之通候也

昭和十三年三月廿九日

新京特別市大同大街六〇一號

滿洲電信電話株式會社

取締役總裁　廣瀨壽助

取締役副總裁　三多

取締役理事　井上乙彥

取締役理事　前田直造

取締役理事　西田猪之輔

監事　白鳥澤

監查役　片山義勝

監查役　中川增藏

右承認候也

追而取締役井上乙彥氏辭任に付補缺選擧の結果中田末廣氏當選就任し監査役白鳥澤氏、片山義勝氏、中川增藏氏任期滿了に付改選の結果全員再選重任に決定せり

朝鮮人志願兵制度實施に際し

洪智裕

我々は多年の宿望たりし日本國民としての名譽でもあり義務でもある兵役の任務を課せられたことは實に愉快なることである。

恐らく朝鮮人としては去年伯林のオリンピックに於てマラソン王孫基禎選手の一着の報に接した時より以上の感激と歡喜を以て喜んだであらう

我々は適確に云ふ、僕等は日本國民である、併も非常時に於ける日本國民である、この名譽ある日本國民にして虐げられたる環境に置かれ貧しい生活を營み不運なる境遇に泣かされたるは之れ獨り朝鮮人のみの罪に依るとは言へないであらう、不滿と不平は誰にもある、だが自分の責任と義務を果せない憂鬱には勝さる、中でも國民として兵役の義務を持たざるものゝ悲哀こそ最大なる不平でもあり不滿でもある。

××

支那事變を契機として朝鮮人の思想に大きな轉換を來せることは既に世人の十分に承知して居るところである、朝鮮內地は勿論のこと滿洲に於ても各地にて日本內地人に劣らざる赤誠を拂つて居る、之れこそ朝鮮人の日本國民としての精神發露にしてその眞心こそ天眞そのものである、日本國民としての自覺と名譽とを感じたる我々は自己肅淸に携まざるものありて去年の秋には新京を始め全滿各地にて當局の意を察して自發的に不正業者の肅正工作に着手して之れを整理した、新京にては協和會運動に欣然參加すると共に組織に於てその精神に於て刮目するほどの進步をなして居る、貧民救濟工作として協和製繩組合を造りて繩なひ副業を獎勵し無料健康相談所を設置して健康相談と施療をなし不良分子は發見する度に之を肅淸して以て自肅自戒運動に專念して居る。

××

之れは決して自畫自讃ではない、有りのまゝを率直に申述べたるに過ぎない、この時に更に志願兵制度の實施を見るに至りたるは我々は初めて國民としての誇りを持つやうになり憂鬱が晴れて一層の奮鬪と努力をせねばならんことを痛切に感ぜずには居られない。

我々は朝鮮系の日本國民である、自己の固有なる文化と歷史を有しその文化たるもの決して他に劣らざるものがある、その歷史、その文化あるが故に我々は日本國民として恥ぢざる條件を具へ得るのである、言語と衣服、並に生活樣式の差異はあれど世界の日本帝國であり民族協和の滿洲國に於て之こそ理想の最初の具現として誇りにしたいものである。

××

この意味に於て新京の協和會朝鮮人分會、同青年團の奮ひは價値あるものであり來る四月三日を期して志願兵制度實施慶祝の種々なる催しを計畫され居ることは當然なることにして大に意義あらしめたいものである、從つて朝鮮人はこの際大いに自省して小國民としてのひがみを拋棄すべきであり、日系の皆樣は尙は一層なる襟度を以て眞の兄弟に接する氣持を持つてもらひたいのである、徒らなる優越感は大を小にする結果を導き八紘一宇の精神にもとるものたるを記憶してもらひたいのである。

××

更に云ふ、朝鮮人は小國民としての『ヒガミ』を棄てよ何時も緊張して他人を敵と思ひ人が我れを侮蔑しやしないか、人が我れを欺しやしないかと緊張する其の氣構へを棄てよ、而して度胸を大きく持てよ、斯くすることが、日本國民である、日本は島より半島へ。

更に大陸へ世界へと前進擴大しつゝある、斯く發展擴大しつゝある日本國民として『ひがみ』は禁物である、優越感の徒らなる發揮は尙は禁物である。

戰線報告　偉大なる宗教の力！（下）

北京　今井慶大

＝山西の教會＝

山西省には至る處に外人經營の教會がある、此の勢力は大したもので至る處でその感を深くした、太原の街は廿萬と云はれて居り現在既にその過半數が歸つて平和に甦つてゐる、殊に太原の銀座通りに當る繁華街はイタリー風の建物が多く一寸支那離れした風景だつた、教會は米人經營とイタリー天主會が多い樣で民國廿三年の山西統計年鑑による山西省の宗教は

佛教　六十八萬八千人
天主教　十五萬人
道教　十二萬人
キリスト教　二萬八千人
回教　一萬人
その他　百萬人

とされキリスト教總堂は七百五十、差會は十三、分道區二百九十六、そして受餐信徒八千三百で、天主教は布道區九餘、教友六萬五千百四十名と記されてゐた、外人宣教師の山西省にはじめて入つたのは一八七六年南京から二名が入り、その後一八七七年より同九年に至る三ケ年にはキリスト教布教外人宣教師七十七名が大擧して山西に入つた、この時は山西が非常な飢饉の年であり、病氣の治療をすると共に、衣服、食糧を與へたが、その後品物を與へるといふことを改め熱烈な意志で民衆に接し精神的に民衆を救助したものだといはれ、その民衆のなかへ入つたキリスト教精神は偉大なものがある

筆者は汾陽に暫く滯在したが此の間でも米人經營のキリスト教會には戰禍を避ける婦女子老人等は多い時は千數百名天主教會にも約七百名が避難して自炊してゐた、米人經營の教會についてはどうか聞かなかつたが天主教の方は宣教師凡べて支那人で避難者からは避難料を大人一日一圓、子供五十錢をとつてゐるとの事であつた、併し何れにしても彼等民衆がかう云ふ際に教會にさへ居れば大丈夫だと避難するだけでも此の教會の勢力の大きい事を物語つてゐる、離石にも三人のノールウエー女宣教師がゐた筈だ、汾陽の居住民は大體一萬五千と聞いた、戰前まで汾陽の街の人心を把握してゐるのは此の教會の力ではなかつたかと思はれる

今では皇軍の入城以來凡て日本軍の正々堂々たる態度の前にその正義に賴つて平和になりきつてしまつてはゐるが、今後にもわれ等日本人はこの宣教師達について學ぶ多くのものがある事を痛感する、汾陽のキリスト教會は十五年前に設立され男五名、女三名のアメリカ人がゐた、教會は堂々たる建物でその外に病院、中學校、女學校、日曜學校を經營してゐた

＝山西の共產黨＝

山西に共產軍が入つて來たのは今から三年前西安から北上して西部黃河を渡つて離石に入つたのが最初で、その間山西軍や中央軍の壓迫に遭ひ事變前にはその中心は山西東南部の山地楡社、和順、沁源等にあり又五臺附近にもその一部が居り、山西共產軍の有名なものは朱德をはじめ賀龍、林彪、徐向前等がゐた、現在はどうなつてゐるか一切不明で恐らく陝西方面に逃れたものと見られてゐる

山西の共產軍勢力を明白に數字で現はせるものがゐたらそれは共產軍を知らぬものだと或る部隊長は話してゐたが或る人は十三萬ともいつてゐた、しかし百名の共產軍がゐたらそこには老若男女を問はず黨員に少く見積つても五倍はゐるだらうともいはれる、山西作戰のどの部隊を訪ねても我々の敵は共產軍だらうといつてゐる、實にその力は根強いものであつた、しかし皇軍は現在では西部黃河を中心とする赤色ルートを殆ど完全に遮斷してしまつた、これによつて如何に執拗にやらうとしても今や彼等の絕滅の日は近づいて來てゐる記者の從軍する部隊は去る二月廿四日離石に入つた、その時住民は殆ど逃げてしまひ僅か十數名の老人病人のみしか離石にはゐなかつた

此の附近は所謂八路軍ではなく傅作義軍だつたが共產軍的色彩は次第に濃厚となつて居りその誤れる宣傳の行渡つてゐた事に皇軍將士驚ろかされたものである、宣撫班も入つたが離石城に歸還する住民は實に遲々たるもので約半月を經た三月七日現在の在住民は四十七名といふ淋しさであつた、今後の山西共產地區の宣撫工作には一大努力が必要であると考へられる

映畫"三十年史"

滿鐵弘報課ではかねて滿鐵創立以來三十年の歷史を映畫に製作中であつたが來る五月までには完成を見るので完成をまつてPCLに委囑して錄音を施し今夏より日本全國各地に開催される博覽會に上映滿洲認識の一助とすることゝなつた

伸びる大錦州　第二期都邑計畫案　基礎大綱成る

錦州市は建國以來名實共に遼西地方における中心都市として發展して來たが今回更に第二段の都市建設計畫に取掛ることゝなつた、第一期の建設計畫は康德二年着手以來起債總額百五十一萬六千圓、用地買收面積二百二十六萬二千八百三十四坪に上り右買收用地に對しても夫々準備假施設が施されたが、第二期計畫には工業都市としての將來を考慮に入れて愼重考慮を重ねてゐる、第二期都市計畫の大綱左の如し

一、工場地帶　紫明區入家子附近にはすでに百二十萬坪の用地が買收を終つてをり東洋棉花には九萬八千坪、日滿製粉には八千坪石油倉庫特別用地として一萬二千坪が豫約されてゐるが東洋棉ガス會社に對しては錦縣より引込線を敷設する計畫となつてゐる、右のほか滿洲合成燃料會社の石炭液化工場豫定地たる大嶺區常屯附近には七十二萬坪の用地が豫約濟みで夫々八キロ、四キロの連絡道路並に引込線が敷設される

二、護岸工事　工場地帶として現在殘されてゐるのは市街西南方小凌河、地域のみであるが、同地域は每年小凌河の氾濫により水害に見舞はれる危險があるので市の發展を誘致するには是非とも大規模の都市防衛護岸工事を起す必要がある

三、水道工事　現在の小凌河鐵橋の河上に淨水池を掘鑿し小凌河の河水を利用して待望の水道工事に着手すべく着々準備を進めてゐる

四、競馬場　適當地域を選び今年秋迄には錦州競馬場を開設、畜產獎勵に乘出すことになつた

五、公園開設　白雲公園の改造擴張のほか市內各所に小公園を設け、その他綜合グラウンド、苗圃等の新設

六、下水工事　本年度に於ては約十八萬圓の排水工事を計畫されてゐる

大陸產業開發の先驅　公主嶺農事試驗場　一日を期し滿鐵より滿洲國へ

三十年間滿洲產業開發の指針となり今日の產業滿洲を築きあげた滿鐵公主嶺農事試驗場は四月一日いよいよ滿洲國に移讓することになり卅日午後三時から解散式を擧行する

大連市制改革近く實現か

治外法權撤廢完了を契機として關東州特殊行政治下に置かれてゐた大連市政の現狀については從來關東州廳を中心に屢々再檢討の對象となつて居たが、過般來市政擴充、市長官選制問題ならびに之に對する大連市會の反對意思表示決議等によつて漸く表面化するに至り大連市政の根本的改革が近き將來において實現さるべく豫想されるに至つた、すなはち關東州廳においては現在兎角市當局と市會の對立がゝある現狀に鑑みこの際市政機構の根本的改革を行ふべしとの意見が有力で、過般來地方課を中心に萬端の調査を完了白石內務部長、大津長官相次いでの東上により中央との折衝も進捗し大體本年末までには劃期的市政改革の實現をみる段取りとなつた、改革案の要點は大體左の如きものと觀測される

一、市會規則の改正　現在の市會規則を根本的に改革し選擧は所謂職能代表制を採用し市行政事務遂行の實質的協力機關としその權限については依然議決機關として存置せしめるなほこれと共に官選議員を增加せしめ協力的發言權の留保を圖る

二、市長の官選　市長の任免權を市會の決議權中より除き、これを官に移して市長に市政遂行上の責任と權限を增與する、但し市長を官市とするか官選とするかは尙最後的決定を見てゐない

三、市政擴充　市機構の強化改革は市政擴充の前提とされ前記事項の實現と共に可及的範圍の行政事項が州廳より市に移管されることになるわけである

卅一周年記念　滿鐵祝賀式　社員表彰式擧行

來る四月一日は滿鐵創業三十一周年の記念日に當るので滿鐵本社では午前九時四十分より協和會館に於て記念祝賀式ならびに社員表彰式を擧行しことになつた、表彰を受ける同日は滿鐵本社は業務を休む社員は二十五年勤續者錦州鐵道局太田久作氏以下百三十二名（內滿人二十六名）、十五年勤續者總裁室人事課長人見雄三郎氏以下七百名（內滿人二百十八名）および發明考案者三名である、なほ滿鐵では今回の表彰については二十五年勤續者に日本刀、十五年勤續者に銀盃、發明考案者には金一封（滿人に對しても何れも金一封）をそれぞれ授與する豫定である

吉林の武道大會

全滿武道大會は廿七日午前十時より吉林道場に於て華々しく開催された、この日全滿の武道者は悉く集り非常時局下に相應しき一大武道繪卷が展開された、この日の高段者は

△劍道　高野範士、宮澤教士、波多江教士、篠原教士、上垣教士、安齋錬士
△柔道　小谷七段、二宮七段、神田七段、中島六段、蔣田六段、山岡五段、大關五段、田中五段、高島五段、筆保五段、尾越五段、谷脇五段

等で、試合は定刻小谷七段、山岡五段の大日本講道館柔道極、投、固の型、高野範士、波多江教士の武德會劍道型、網島範士の武德會體射の型の終了後引續き開始され三百餘名の息づまる熱戰を見せ午後七時盛會裡に終了した、主なる試合成績左の如し

△劍道優勝者
一等　上奥初段（奉天）
二等　平山三段（吉警）
三等　島田三段（吉林）

△柔道優勝　梅河口監理所チーム弓道優勝者
一等　氏田（吉鐵）
二等　辻（吉林）
三等　芝辻（吉林）
四等　河西（新京）

尙番外として中島六段の二段三名、三段四名、四段一名の八人掛があつた

錦州競馬　今秋から開設

產馬獎勵、市民の娛樂機關として永年待望の錦州競馬場は適當地域決定次第今秋迄には開設されることゝなつた

讀者の領分　投中稿傷歡不迎可

新京の恥（下）

次ぎは商店のサーヴス振りだ賣りつ子にサーヴスといふ觀念があるだらうか？觀光客がある町によい印象を與へられるか否かは、案外つまらぬ事？からなのである、例へば宿屋の女中のサーヴスがよいとか惡いとか、買物した店のセールスマンの態度だとかいふやうな事がなかなかの原因をなしてゐる、觀光シーズンを前にして新京店員のサーヴス再訓練が必要ではないか？觀光客など第二としても各商店自らの興亡に關する事だといふ事を認識して欲しいものだ今迄の新京はあれでもよいかも知れないが、今後もあれでよいと思つたら大變な認識不足だ。實例一、筆者はある有名な店でドイツのゾリンゲンのヘンケル會社のトウインブレード（兩刄）といふ安全カミソリの刄を買はうとした、一枚二十五錢だといふ、之は內地で一枚十錢新京でも十七錢位で賣つてゐる所がある、然るに一枚二十五錢とは餘り高いので「戲談ぢやないなんかの間違ひだらう」と言ふと十七八の男の店員は「戲談とはなんだ、これはゾリゲンといふもので一番エイだ」（その時の店員の言葉そのまゝ）と眞赤になつて怒り他の店員に「戲談とは失敬だ」とかなんとか聞えよがしに話してゐる、筆者が餘りに高いこの價に無意識に出た「戲談ぢやない」といふ言葉が、この少年をこんなに怒らせるとは却てこつちが驚いたのである、實例二、之は筆者の友人の體驗である、友人はなんの因果か年中藥店と仲よしだ、ある時いつも行きつけの藥屋に夜の十一時近く行つたさうだ、もう店はしまひかけてゐる中に入れて買ふとそこの若主人が非常に不機嫌で「こんなにおそく可哀さうだと思つて賣つてやるんだ」と言つたさうだ、まるで慈善事業でもするやうに、以上の二例はたゞ極端の例として葬るべきでなく之は新京全商店の對客思惟と一聯の紐帶をなしてゐるのだ、即ち「可哀さうだから賣つてやる」といふやうな氣持が無意識的に各商店にあるので、それがたまたま以上二例の個人の性格、教養を通して現はれたのだと解すべきである、勿論斷る迄もなく筆者は私的感情で物を言つてゐるのでない、全商店がもつとサーヴスといふ心を會得する事を要求するのは市民の權利でもある。近く內地觀光客殺到の季節、あまり驚かすやうなサーヴスはお互ひに愼しみませう（愛市生）

家庭

解放的な春の麗姿に お部屋の中心も窓邊へ移す

―洋間と和室の場合―

家具・調度 春の室内裝飾 （上）

あたゝかい春が來ると共に冬の間のストーヴや火鉢を中心として戸外とかけはなれた室内生活も、戸外へ庭へと解放され擴大されて來て、室内の設備や裝飾もこれに調和するやうに改めて行かねばならなくなりました、そこで洋室、和室に分けて裝飾法を申上げませう。

洋室

冬の寒い間は煖房を中心としてすべての家具が配置され、家具の數も多くなつて居りますが、春になつたら部屋の中心も煖爐から窓際、ベランダなどに移動して來ます、つまり庭園へ向つて室内が延長してくるわけですが、厚い冬着も合着に取かへるやうに家具の數も減じて、春らしい輕やかな氣分にして配置も柔らかみのあるフリーな配置にします。

（たと）へば、冬の間は煖爐を中心にして、四角四面に並べてゐた椅子を窓のはうへよせて置くといふやうに變へてみます、干に用ひるクッション、テーブルセンターも春めいた華やかなものに取かへ、裝飾の置物なども數を少くします。

春は夏へ移る中間の季節ですから、窓掛けなども、夏のレースほどでなくても、明るい色で室内に反映するやうな薄手のものにし、敷物も同樣に中間位のもので調和をとります。

洋室についてゐるベランダは、庭と室内の聯絡をはかる場所ですから、半ば室内であり半ば部屋である場所にして春の氣分を濃厚にあらはしませう、このガラス戸にかけるカーテンは、庭かカーテンを通じてみられる薄手のレースなどを用ひますと、部屋と庭とが連續して、ひろびろと豐かな感じにみえます。

こゝに濃厚な色のカーテンなどを用ひますと、部屋が非常に狹く感じられます、庭も部屋の延長として取り入れるのは巧みた方法です。

（ベラ）ンダの家具は、室内よりも安易なくつろいだものがよくどこへでも輕々と移動させられる籐家具がよろしいと思ひます、そして、特に裝飾としては、植木類をベランダに取入れて下さい。

一つ二つでなく、室内庭園を構成するぐらゐのつもりで置くと、實に春らしい氣分があふれて參ります、陽光を浴びてチヽとさへづる小鳥の籠などを吊すのも好ましいものです。

また、庭も冬とはちがつて家具を置いて朝の食事や談話休息などに大いに利用したいものです。庭に置くのは、簡單な椅子や卓子がよいと思ひます、雨や陽に晒されるのですから、ペインテッド・ファニチュア（ペンキを塗つた椅子類）が最も適當で、或は自然の枝木を巧みにくみ合せ、釘付けにした素朴なものもよいでせう。庭園の家具は家庭の人が工夫して自分で作つたものなどのはうが却つて面白いと思ひます、贅澤な費用をかけずとも、工夫ひとつでいかにして生活を趣味化するかといふ點に興味があるのですから。

（庭園）の家具を生かすには庭を芝生にすると一層引立ちます。

さて、春の家具や窓掛類の色調は、なるべく色數を少く柔らかな感じのものを選びます、夏になると誰でも神經過敏になり、白と黒といふやうな強い色でコントラストをとつたものが調和するやうになるのですが、春はその前提でピンク、水色、クリームなどがよいでせう、殊に資色の勝つた綠などを主にすれば庭の新綠と連つて實に春らしい氣分になると思ひます。（東京高等工藝學校教授　木檜恕一）

料理獻立

▼…風變りな鮭（罐詰）の蒲鉾

△材料＝罐詰鮭、片栗粉、豆腐、調味料

△拵へ方＝罐詰をほぐして皮と骨を拔き、水氣をしぼつて擂鉢に入れ、豆腐も布巾に包んで固く絞つてから一緒に入れて充分擂りまぜます、最後に片栗粉適量と酒、鹽、砂糖少々で味をつけ、これ合せてから蒲鉾形に拵らへ御飯蒸しに布巾を敷いて入れ、固くなる迄蒸します、輪切りにして山葵醤油で頂くと鮭とは思へぬ上等の風味があります。

▼…蕗の佃煮

▼…蕗は春早いふきのとうを珍重する外に、出たその柔かい芽を摘んで佃煮にしたのはそれこそ春の珍味で春先きにやうやく減退しようとする食慾などは呼び返すに足ります

▼…柔かい若芽なのですから茹でる必要はない位ですが、たとへでみが強いと思ふのでサッと茹でこぼす方がいゝでせう。その上で醤油と味醂とで煮しめます。

▼…お庭の蕗なら今やつと丸い葉を出したばかり、もう少し經つてからでも遲くはありません。尤も早い蕗はもう市場に出てゐますから、塞が使つたあの葉の柔らかい所を利用してもよいのです。

眉墨にコルク栓

質の悪い眉墨は毛をいためるので、長らく使つてゐる間に眉毛がすつかり拔けてしまつたり、その部分の皮膚がやけて醜くることがよくあります、店で賣つてゐるものは餘程上等のものでないと原料が悪いので感心しませんそれで有合せのコルク栓を捨てずにおいて炭火で埋めて燒き、それを箱にでも取つておいて眉筆で描けば毛を少しもいためず自然のよい色に描けます

コドモマンガ

(1)「ジョ、ジョカダンイツチハイケナイ、キラレリヤボクハシンジマフ」トボンキチガイフトフクメンハ「一ペンキラレテミロ、ナカ〳〵キモチノイイモノラシイゾ、ソコニモヒトリキラレテネテヰル」トイフノデミルト、コレガサツキノヒメイノヌシデセウ、クビヲキラレテシンデヰル。

ソコニモヒトリキラレテイルゾ

ヒヤッ コレハケンノン〳〵

(2)「クワラ〳〵ケンノン〳〵」トコシヌケノボンキチガソロリ〳〵トオシリデブツテニゲダサウトスルト「ニゲダストハヒキヨウセンバン、コゾウ、カクゴッ」ト、フクメンノクセモノハカタナヲイジヨウダンニフリカブツタ「ヒトゴロシー」ボンキチノヒメイガヤミニヒビイタ。

コゾウカクゴッ

ヒトコロシ…

春にもなれば スリと不良が横行

▼……やられぬ前の用心法

近年スリの跋扈が甚だしく、そこで警察廳では春になれば大馬力を掛けてスリ狩を斷行するので、その結果この期間の被害件數が大分減少して來た。スリは何處となく小粹な手際に一寸感心させられる。だが然しスラれてこれ程いまいましい癪に障るものはあるまい。これは盛場、人込み等の混雜にまぎれ物凄い魔の手を振ふ

（敏捷）だから油斷はならぬ。スリの活動舞台は先づ盛り場、百貨店、バス、汽車の中、停車場、活動寫眞館内、等總べて人だかりのする處は何處にでも出沒する。狙はれるのは外に氣を取られてうつかりしてゐる時で、狙ふ品は蟇口や時計等が主なるものであるが、落着いて用心してゐれば滅多にスラれるものではない。豫め蟇口の仕舞どころなどを注意して置けば先づ安全である。この頃腕時計をスラれたと屆出る人がよくあるが、これはスラれたのではなく落したのが多いので、なぜかと言へば拾つて屆出て來る時計の八割までは腕時計である事から見ても判る。だから腕時計の腕革はひどく痛まぬ内に取替へる事が肝要と思ふ。この頃のスリは中々堂々たるもので、一寸立派た身なりをしたのが多く、その態度等も素人目ではこれがスリかと驚く程である。スリにも色々あり、十四、五才位の弟子を四五人も養つて自宅でスリ術を教へ、試驗の上相當の腕になつたと認むれば實地に就かせるといふマルで×の寺小屋といふ樣な親方などもある。これと反對に師匠なしの獨習で一人前のスリになるのもある。

（そこ）でスラれぬ用心としては

（イ）先づ財布の樣な貴重品類は洋服ならチョッキの内ポケット、和服なら胸に巻くのが安全第一で、よく婦人が廣い帶の間に一寸差入れて粹に見せかけて覗くがあれは危險此の上もないことであるから大いに注意すべきであると思ふ

（ロ）時々懐中に手を入れて存在を檢べる習慣性をつけることが肝要である

（ハ）人込みの中では時に安全カミソリ等を使用するスリもあるから、ポケット、袂等には充分の注意を拂ふこと

（ニ）自分の身邊に近寄る人、樣子の變な人、トンビを着た人には深甚の注意を拂ひ決して其の人達に接近せぬこと

（ホ）前方にのみ氣を付けず前後左右にも氣を配らねばならぬ、といふのは後ろ向きで鮮かた仕事をするスリもあるから油斷はならない

不良こその注意

花に氣も緩むころ、時を得顔に魔手をふるふものの一つは不良の面々で、これまで數次に亘る不良狩によつてこれ等の大部分は除かれたが、釋放されたものもあつて、これが例の縄張と乾兒を從へ相變らずのさばり返つてゐる。この

（手口）は硬軟さまざまで親切ごかしに話しかけるもの、わづかのことに因縁をつけるもの、一寸したキッカケを作つてエロとグロいづれかの罠に陷れようと鵜の目鷹の目で網を張つてゐるのだから、年頃の娘さんは殊に注意すべきである。春は心までのんびりうちとけ易いもので、その心の隙につけ込まうとする不良の魔手にでもかゝつたら、それこそあたら人生を台なしにする恐れがあるから、年頃の人自身は勿論、その保護者も充分注意せねばならない。

けふの番組

〔新京放送局 M・T・C・Y 三十日（水曜日）〕

朝

七、三〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、五〇初等滿洲語講座　講師　秋父固太郎（大連）
八、一五ニュース・氣象通報（大連）
八、二五朝の音樂（東京）
八、五〇建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座（大連）冬物の後始末と春着の手入れ　大連昭和高等女學校教諭　伊藤美津子
一〇、二五料理獻立（奉天）
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

晝

〇、〇一晝の演藝　常磐津　釣女　常磐津三春太夫
同　淨瑠璃　常磐津正房
同　曙　きかく　お染
三味線　桐壺　時雨　小梅
〇、三〇ニュース（東京・新京）
一、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、四〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京）氣象通報・ニュース（新京）
四、四〇經濟市況（東京）
五、二〇ニュース（鮮語）民謠ヴアラエテイ（鮮語）裴龜子樂劇團
一、關西千里　二、思郷曲　三、天安三巨里　四、梁山道　五、リリリヤ　六、アリラン

夜

六、〇〇子供の時間（奉天）お話　苦力の神樣　山田健二
六、二〇コドモの新聞（大連）
六、二五商業常識講座　原島省吾
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇國民歌謠（東京）一、朝　島崎藤村作詞　小田進吾作曲　二、白すみれ　薄田泣菫作詞　小田進吾作曲　獨唱　永田絃次郎　伴奏　東京放送管絃樂團
七、四〇講演（東京）時局と中小工業　工業組合中央會々長　梶原仲治
八、〇〇能樂（東京）＝水道橋寶生會能樂堂より中繼＝　藤戸　寶生重英　寶生新　森茂好　唐澤時司　山本東次郎　外數名
八、五五浪花節二題「第一夜」（東京）南京最後の日　萩原四朗作　壽々木米若
九、二九時報・ニュース・ニュース解說（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）アナウンサー宮岡卜森

能樂 藤戸

（後八・〇〇 東京より）寶生重英外

佐々木三郎盛綱藤戸の先陣せし功にて賴朝より兒島を所領に賜り、今日しも入部の披露にとて訴訟ある者は申出でよと布令せしむれば老女一人出で來り罪もなき我が子を海に沈め給ひしが怨めし元の如くにして返し給へといたく悲しみ歎きければ盛綱包まず其時の樣を語りぬ。そも藤戸の先陣せし時淺瀨を敎へし男あり下郎の筋なき者なれば又もや人に語らんと思ひ取つて引寄せ二刀刺し其まゝ海に沈めて歸れり、さてはその男の母なるか何事も前世の因緣と思ひ今は怨を忘れよと樣々に慰めたれども母は我が子を返し給へと狂はんばかりなり。盛綱あはれに思ひ、人をして女を私宅に送り返さしめ、鄭重にかの男の跡を弔ひしに、其靈現れ已が刺し通されたるときの樣を學び、供養を受けて怨も晴れ成佛せりと消え失せぬ。

浪花節二題（第一夜） 南京最後の日

萩原四郎・作　壽々木米若

「嬉しや男と生れ來て、大君の御爲祖國のため生命を捧げるこの首途。勇士のあとを雄々しくも、家を吾子を守り行くやさしき母やまた妻は、まごゝろ燃ゆる紅椿香りもゆかしき國の花、日本よい國強い國渡邊民子と吾は十年來夫健吾に家出をされ、女手一つで、吾を抱へて旅から旅へと流れ歩いて居たが何時も吾の頭から去らないのは父陸軍上等兵渡邊健吾の姿だつた。母親は倅に父親はもう死んでしまつたのだからと父の事は話をしない樣にと說き聞かせて居た。此處は〇〇驛に程近い旅人旅籠から表を見れば勇しい歡呼の聲や旗の波數多の兵が威風堂々と行進して來た。その中に十年前に親子を捨てて行方をくらました夫健吾の姿を見とめた、母親の民子は吾の手を取つて健吾の所へ吾を引き連れて行つた。健吾は親子に十年前の不始末を詫るのであつた。放蕩無賴の夫であつたが御國の爲に出征する姿を見ては張りつめてゐた心もゆるみ、健吾に殊勳をたてて、立派な働きをする樣に決して吾の事は心配をするなと健吾を勵ますのであつた健吾は勇奮、〇〇驛を後に征途に就いた。江南戰線に活躍中の渡邊健吾上等兵の所へ吾からの手紙が屆けられた。その文面には、母の急死が報じてあり、吾は父親の殊勳を待ちこがれて居り例へ父親が、名譽の戰死を遂げ樣とも天皇陛下の御爲なら決して悲しいとは思はない。夕刊を賣つて勉強してゐるとの事であつた。健吾は〇〇に上陸以來待ちに待つた機會は來た、それは、南京城壁爆破の決死隊であつた。その一員に加つた渡邊上等兵は奮鬪物すごく第一回失敗、第二回、失敗第三回目の爆音にさしもの城壁も爆破され、遂に渡邊上等兵は名譽の戰死を遂げた。此の爆破に脇阪部隊は勇躍城内に突入し南京城頭高く日章旗を揭げた。軍國の妻冥すべし少年吾よ今頃はいづこの涯を漂泊ふか輝く父の勳を、風よ傳へよ陽よ語れ題して南京最後の日。（終り）

午後〇・〇一 晝の演藝 常磐津 釣女

地元　常磐津三春太夫さん

解説

此の曲は長唄の「釣狐」からヒントを得「明治十六年十二月に河竹默阿彌が常磐津、岸澤兩家の和解成立の披露を兼ねて書きおろしたもので、大名定之進が妻を得るために西の宮の惠比壽神社へ太郎冠者と共に參詣し、御告を受けて釣竿を得たので、それで妻を釣り、大名は上を、太郎冠者は醜女を得るといふ能の狂言仕立の筋である、此曲が始めて舞臺にかゝつたのは明治三十四年七月東京座で座付作者の竹柴晋吉が加筆して「島沖白浪」「曾我」の切狂言に「戎詣恋釣針」といふ名題で上演されたので、役割は市川壽美藏（先代）の大名、中村勘五郎の醜女、市川猿之助（故段四郎）の太郎冠者、中村銀之助の上で非常に好評であつたので、其後三津五郎菊五郎或は宗十郎等に依つて屢々上演され常磐津物の所作事として屈指なものとなつた

學藝

創作 此の男を見よ！

波多徹

熱情を喪失し、僅かな常識を唯一の武器に、虛無の絕壁上を危く跆蹌の步みを續けてゐる苦悶に耐へかねて、漸く此の頃生きてゐると言ふ事實が實に何ものにも勝る價値ではないかと言ふ想念にたどり着いたのであつた。

乞食でもない、まして課長でもない、碌々たるサラリーマンが我が業ではあるけれど、月末の借金取りを如何にか斯うにか追ひ拂らへば、本の香新らしい社宅には勁き過ぎる位スチームが通つてゐる。書棚には既に配本の差止めを食つてゐるとは言へ、目に見えて增えた新刊書の類がギッシリと積まれてゐる。折疊み式の瀟洒な應接用セットも設らへられ、月賦で購つた机の前には緞子の大座蒲團も主待ち顏に敷かれてゐる。正式の結婚式は擧げなかつたが、母と家內の打合も非常に巧くいつてゐる。去年の暑い最中に生れた二番目の娘も、年を越して益々發育よろしく、時々親父の狂的な愛撫を受けてベソをかく以外は至極順調に肥滿してゐる。

たゞ巧くいつてゐないのは何時になつたら正氣になつて治まることであらうと思はれる掌櫃さんの素行だ。しかしてそれ故に附隨的に發生してくる家庭上の經濟上の諸々の現象だ。さおに簡單に追拂はれると書いた月末の債鬼供もこれはさう簡單ではない。追ひ拂はれる身よりも追ひ拂はねばならぬ立場がどれだけ辛いものであるかは、實際の體驗者でなければ言つても無駄であらうか、此の辛い立場に立至り度くないために人々は營々として働き、切々として始末し、骨々として不時の蓄へをなしてゐるのではあらうされば私如き素行不良の掌櫃さをもつた家庭の一員こそ目も當てられぬ始末で、女房としてはこれは如何にも割の惡い立場であることは、私は天を仰ぎ地にひれ俯して嘆き悲しみ謝罪懺悔をしても恐らく盡きるところがないであらう。

何が故にかゝる惠まれた環境に在りながら實を以て何か不足で、此の明るく樂しく床しい家庭を顧みることを忘れ連夜の如くバーのフロアールに跆に打倒れ、ダンスホールに跆跟のステップを踏みならし、凍てついた深夜の步道を身も縮らして、恐る／＼家內の蹴り泣く伏床にたどりつかねばならないのであらうか。

書かなければならないと思ふのである。然し何を如何に書いたら好いと言ふのであらうか。卑劣なる性格は、あまりにも早く大向ふの喝采を豫想し過ぎてしまふのである。詩とは何だ。文學とは何だ。書く前に讀まねばならないと思ふのである。百圓のサラリーで三十圓近くの書籍を年取り續けたら早や本屋は配本を差し止めてしまつたことは既に前に言つた通りだ。實は私もそんな豫感がせぬでもなかつたから、傳票に判を押す度びに、如何に、もろく崩れさうになつてしまふ感情を立て直すことに努力したことであつたが、本屋の店員は好ましい文學青年であつたからよく謝罪すれば判つて貰へると思ふのであるが、結局本屋も私の一家もこれでは全く生活も出來ないと言ふことになるのであつた。

友人に會へば口をついて出まかせのへらず口を悲しみ、あいつは何と言ふ機轉のきく男で、將來恐る可しと思はれることを期待してゐる。カフエーにせよバーにせよホールにせよ、果ては品物もかはぬ百貨店の美しいショップガールにまで視線を會はせればニタ／＼と醜惡なる微笑を投げ與へ、纖雜なる言葉のやり取りに、彼女等の一顰一笑を氣にしつゝ、豆腐の角に頭をぶつゝけて死んでしまんと自嘲の鞭を打振りながらのた打ち廻はり、前目には何と言ふ氣ざで下素ぽい腰のふらついた態度を裝はずにはゐられないのであらうか。全く飛んでもないルンペン野郎でありながら、課長とは第一番に喧嘩口論をおつぱじめ、月給の額に就いては人事主任の才能を口汚くのゝしり合ひ、たえず橫目で社會を眺めてゐるのである。

結局絕えず主張してゐるのは、自分が如何にインテレクチユアルで眞理を尊び、藝術を解し、なほかつ事務にも堪能で、社會的にも、否世界的にも否後世歷史にも殘る可き叡智と聖德を備へて有能の人格であるかと言ふことを眞劍になつて宣傳し步いてゐるのではないか、とは言へ時には四書五經を會社の机上に繙き顏面と言へるものあり、一簞の食一瓢の飲、陋巷に在りてまどはずと口吟み、學ぶに如かず、何ぞ祿を求めんや、自らその中に在りと高唱して課長の三百圓の月給は高いと思ふのである。

あゝこのインチキ野郎の、ルンペン野郎のオッチヨコチヨイの出平野郎の怠けものゝとんでもない馬鹿野郎は、これでもやつぱり生きて行かねばないのであらうか。

ユーモアもの一つ

―新田潤「化けたマンドリン」（『文學界』四月號）―

これは一種のユーモア文學とも言はれてよいやうな小說である。悲壯感はつきまとつてゐるけれども、主人公のへう逸さが壓倒的なので、結局讀者はユーモアを最も強く感じてしまふのである。或る學生がひどく單刀直入的な性格で女を戀する。それは色んないきさつを經て、一應成功しさうに見えるが遂に破れてしまふ。そして最後に男はマンドリンに惱みを消すことを見出す。實はそのマンドリンは亡父の墓を建てる筈だつた金で買つたのである。その男が、マンドリンを質に入れたまゝ出征し、戰地からマンドリンのことを友人に賴んで來たことから話は始まつてゐる。面白く讀めることに間違ひはない。淮かに斯うした文學もあつてよいと思ふ。この作者の斯うした方向への發展に期待することにしやう。（村崎野守）

電氣スタンド奇談

協和會の佐藤岩之進君 東北の產だけあつて頑張る力は相當なもの▼甘粕さんから文句を食つてもニコ／＼笑つてそれから諄々と自己の立場を說き出すのは有名だが▼この間は夜街に出る所を友人に見付けられ「君身體が弱つてゐると言つてゐたのに」となじられる▼「いや、電氣スタンドを買ひに行くんだ」と答へたまではよかつたがやがて相共にカッエーそれがしに現はれ、とたんに發見した眉目よきこを愛撫して深更に及んだといふ飛んだ電氣スタンドさ

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲業務改善資料（三月號）大中信夫「時勢と事務能率」「左橫書採用提案」その他（滿鐵技術委員會能率班、年一圓）

▲文檢世界（四月特輯號）各種の檢定試驗に關する研究を滿載したもの（東京市小石川區林町七〇、國民敎育會、定價五十錢）

▲滿洲鑛業協會會報（二月號）綏遠、山西の鑛業資源についての記事その他法規、時報等（新京市西三條街、滿洲鑛業協會、五角）

▲日華（三月號）姬野德一「北支那の政治」加藤伶保「躍進滿洲經濟界の一年」を主要な記事とすべきであらう（東京市麴町區富士見町二丁目一〇ノ六、日支問題研究會、三十五錢）

▲主婦之友（四月號）吉屋信子女史が、四季と吉凶禍福に亘るあらゆる種類の手紙文を百通近くも執筆し、これに菊池寛氏が現代の日常手紙常識一切を網羅した「手紙讀本」を添加し、女流書道家として有名な比田井小琴鷗見芝香両女史がそれぞれ毛筆とペンで習字手本を書いてゐる上に高信峡水氏の「用語辭典」までもが特輯されてゐる大附錄「婦人手紙文全集」の偉觀は注目に價する、「凱旋の病院船に同乘する感激報告記」と「蘇州爆擊の花と散つた白相少佐未亡人涙の誓ひ」等の切々として迫る眞實は涙を禁じ得ないもの（東京神田主婦之友社、特價七十錢）

▲健康滿洲（三月號）久保久雄「恐ろしい不良住宅」箭頭正男「止めて欲しい喫煙と麻雀の習慣」その他健康滿洲のための諸記事を盛る（民生部保健司內、滿洲結核豫防會、二十五錢）

▲滿洲良男（第二號）「滿洲國建國六周年を迎ふ」「日滿軍警の決死的治安工作」グラフその他滿洲國關係の記事を盛る（關東軍司令部、三錢）

NORTH CHINA IN TRANSITION（支那事變叢書第六篇）移り行く北支を再建の途上に、北支自治運動の進展、摘要と結びの三節に、グラフで說明した英文パンフレット（滿鐵弘報課）

▲江橋大査、嫩江下流漁業調査書（產業部資料一三）嫩江下の漁業情況を詳細調査した報告書、四六倍一八〇頁（產業部大臣官房資料科）

▲內外經濟情報（三月號）「日貨浸透力與求償貿易新傾向」「滿洲水產物之生產及需給情況」調查、時報、雜報、法規等（新京吉野町三丁目七、日滿實業協會滿洲支部、十五錢）

滿洲映畫國策論（二）

外山卯三郎

私達は先づその宣傳的な使命を持つ映畫から考へて行くことにしやう。先にも述べたやうに宣傳的な使命を持つ國策映畫と言つてもその宣傳對象を國內に求めるか國外に求めるかと言ふことによつて二つの異つた分野が展開されるだらう。

（一）對外的な宣傳を對象として行はれる國策映畫と言ふものは言ふまでもなくその國狀を出來るだけよく理解させ對外的に親密な情勢を導き出すものでなければならないから こうした國策映畫は從來形式的に取扱はれた宣傳と言ふ外面的な解釋にわざわひされて歪く歪められた狀態に置かれてゐる。

例へばこの定例を日本にとるとすれば日本が對外的な宣傳のために製作する國策映畫と言ふものは殆んど悉くフヂヤマ、ゲイシヤガール的な形式に陷つたものであつてそこには何等現代の日本と言ふもの〻生きた姿がない。全然日本と言ふもの〻存在を知らない人であれば一度は奇異の眼をそばだてるかも知れないが對外的な宣傳と言へばフヂヤマ、ゲイシヤガール一式に定つてゐてはどれ程奇異な風習でも見る人が無くなることであらう。第一生活のない外形に人は決して長くひきつけられるものではない。またかうした白々しい宣傳物を何人が本氣になつて見ることだらう。こゝに日本の對外宣傳映畫の失敗があるのだ。いま私達がこれを滿洲國に實例をとつて見るとすればやはりさうしたことが充分警戒されねばならない。

私はいまこゝに滿洲國が對外的に宣傳をする最も理想的な映畫國策案を提出して見やう。それは外でもない、滿洲國人の生活上のあらゆる變化と形式と階級を包含してゐるあの大衆的な「娘々祭」を主題とした映畫の製作であることの「娘々祭」と言ふ宗教的な祭を主題とすることによつて滿洲國の宗教や風俗や國情を理解させることが出來るとともに幸福を得やうとして集る大衆の姿は全人類に共通に與へられた一つの本能である。しかもこの大祭を中心として集まる民衆の風俗や衣食住の變化あらゆる歡樂的な行事や興行あらゆる種類の商店の連續は文字通りの滿洲國を知らせる百科辭典の感じを呈するからである。この興味深い千差萬別の風習を忠實に映畫しながらこれに一貫したテエマを與へて一大文化映畫とするならば恐らく日本は言ふまでもなく海外の人達を充分魅惑する力のある映畫が完成することだらう。

かうした興行的價値のある映畫であつてこそ大衆を喜ばせもするし對外的に働きかける力をも持つものである。しかもその映畫が滿洲國を充分理解させるに足りる風俗習慣や生活を描いてゐるとすればその宣傳力たるや偉大なものと言はねばなるまい。これこそ眞實の對外的な宣傳の映畫として國家が製作すべきものである。

馳せ參ず軍國戰士 六十餘組四百人

戰機滿つ 本社主催第二回武道大會 けふ午後四時抽籤

國都武道界を網羅した本社主催第二回全新京武道大會は武道會並に愛國運動首都聯盟の後援で來る四月三日神武天皇祭の佳き日に午前九時より八島小學校に於て盛大に擧行される、これに先だち本社では二十五日申込みを締切り係員に依つて整理中であるが軍國の春青年の士氣昂揚が從適されて居る時とて各官廳會社の武道熱は最高潮に達し柔劍道合はせて六十余組四百余人の參加ありこの新進古豪一堂に會し本社の優勝旗を始め武道會、星野總務長官、平島滿鐵支社長の優勝大盃、井上氏寄贈の銘刀を繞つての大接戰は空前の盛況が豫想される、申し込みを整理した本社では三十日午後四時より本社樓上に於て武道會、愛國運動首都聯盟の立合で嚴正なる抽籤を行ひ組合せを決定する

春の犯罪防止

萬全を期し市民の協力要望 家を空けないこと

半歲に亘る蟄居生活から開放されて戶外へ戶外へと市民の外出の機會は日々その數を增して來た、この隙に乘じ空巢狙ひ、掏摸等の犯罪が跳梁するのは例年の現象である、本年二月中に於ける國都の犯罪統計から眺めても竊盜が首位を占め二百廿八件を數へてゐる、內中央通署はその半數百十三件次いで大經路署の約六十件であつて被害は日本人の居住する管轄署に多く春酣と共にこれ等犯罪は日每に增加の傾向あるに鑑み首都警察廳司法科ではかゝる春の犯罪防止に全力を傾注し防犯の萬全を期するためかねて防犯計畫立案中であつたがこの程具體案も決定愈よこれが實行に移し明朗國都建設に活動の火蓋を切る事となりその成果は頗る注目されてゐる、これについて中島司法科長は左の如く語り市民の協力を要望した

犯罪の防止は民警の一致協力によつて始めて效果あるもので一般市民の協力を俟たずしては防犯の萬全を期することは出來ない、殊に新京に於ける盜難被害者の大部分は日本人であるが、これは內地と事情を異にする滿洲に於て內地の如き氣分で極めて無關心にある關係と思ふ、滿人に盜難の少いのは日本人の如く一家全部外出して家を留守にするが如きことのないのが主なる原因である、在住邦人として特に認識しておかねばならぬことは市內に居住する下層滿人の殆んど多くは盜癖を持つてゐることで隨つて行商人、屑拾ひ、住宅の附近を徘徊する馬車夫、洋車夫等にも決して油斷は出來ない、盜難防止の第一條件は家を空けないことであるが、止むを得ない時には次の如き注意が必要である即ち（一）隣家と賴み合ふこと（二）鍵は外部から見えないものを用ふること（三）南京錠の如きはかへつて不在を證明するもので危險である（四）夜間は窓掛けを用ひ電灯を消さぬこと、ラヂオをかけたまゝ置くのも效果がある、その他官公署、病院、銀行會社等民衆の多數集會するところに於ては（一）廊下に物品を放置せぬこと（二）銀行郵政局等に於てはとくに掏摸に注意をすること（三）自轉車を路上に放置せぬこと（四）客を裝ふ萬引に注意すること

青いポスト 全部朱に塗替

治外法權撤廢により滿鐵附屬地內郵便行政は昭和十三年十二月一日より滿洲國に移讓された爲新京市內には舊關東遞信局管下郵便局の朱塗りポストと滿洲國郵政局の青塗ポストがごつちやになり一般にまぎらはしいばかりでなく市街美の點から言つても面白くないので近く青色は全部朱色に塗り替を行ふことになつた、尚市內のポスト數は全部で百六十六うち百十が青色である

郵政生保取扱局 更に百局增加 總局擴張運動開始

庶民階級の生活安定のために政府が經營してゐる郵政生命保險は加入手續きが簡單な事と每月保險料を集金するといふ特色が一般民衆に歡迎されて創始以來半年足らずの今日契約件數三萬九千、保險金額六百四十萬圓に及んでゐるが從來この保險を取扱ふ郵政局は全國で百七十四局に限られてゐたので來る四月一日から新に百局を增加して合計二百七十四局で取扱ふことになつた、郵政總局では曩に郵政管理局長會議を開催して本年度の郵政保險の普及策について協議したがいよ〳〵取扱局の增加も實現するので本年度中に二十萬件の契約成立を目標に全國的に積極募集運動を開始する事となつた

天皇陛下御弔電に對し 皇帝御答電

三月廿九日宮內府發表＝鄭前國務總理大臣の薨去に際し畏くも日本天皇陛下におかせられては皇帝陛下に對し奉り御弔電を寄せられ（廿八日午後七時廿分）、皇帝陛下には同日御答電を發せられたり（廿八日午後十時五分）御弔電並に御答電に關する御趣旨は左の通りである

日本帝國大皇陛下には康德五年三月廿八日鄭前國務總理大臣の薨去に弔意を表せらるの御弔電を寄せられ、同日皇帝陛下より御謝電を發せられたり

列車內の忘れ物

（春は眠くなるデス）ポツ〳〵增えて來ました

春は眠くなるです—新京驛へ到着する列車の中へ旅客が置忘れてゆく樣々の品物が段々と多くなる、廿九日は午前八時着十五列車に首卷一枚と毛布一枚、同八時十分着廿一列車に蝙蝠傘一本の忘れ物は暖くなるともう存在を忘れてしまふ持主の不人情を歎いてゐる樣である、外に洗面袋や內容に何があるか柳行李が一個これは、これはと思ふ傑作に支那そうめん一束といふのがある、春日麗かを增すと共に比例して遺失品を增すのが每年の例ながら困つたものですと係員も微苦笑もので取扱つてゐる

武部關東局總長 張總理に辭任挨拶

武部關東局總長は四月一日より約一週間の豫定を以て國境方面を視察するが廿九日午後三時國務院に張總理を訪問、辭任の挨拶を述べた

辭任に決定の武部關東局總長

不統一極まる 特殊會社の初任給 近く給與制度改正か

滿洲國の產業開發に伴ひ在滿特殊會社の業務は漸く軌道に乘り着々と所期の目的を遂行し好成績を擧げてゐるが最近支那事變を契機とする軍需工業の發展に伴ひ人的要素の不足をつげ學校卒業者の新規採用は非常な困難な狀態にありこれがため激增の一途を辿る在滿特殊會社の新規採用者は非常に難しくなり殊に在滿特殊會社の新規採用給與が不統一にすぎるため新規卒業者の詮衡には各社人事係とも頭痛鉢卷きの態でこの不統一なる初任給を現在のまゝ放任するときは一部會社の將來の業務に影響するところ尠からず產業部、經濟部及び人事處では在滿特殊會社の現行給與制度を是正すべく考慮中で近く具體化される情勢となつた

即ち特殊會社の給與は滿洲國政府のそれよりも厚遇であると一時問題化せんとしたが現在の狀態は同じ國策遂行を目的とする特殊會社であり乍ら不統一極まり同じ學校を同じやうな成績で卒業しながら新京に於て二十圓乃至四十圓の開きがあることは給與制度が會社業績の如何によるものとは云へ不合理なるを免れず關係當局で是正に乘出さんとするもので成行は興味を以てみられてゐる

在滿三十數年の歷史を有する滿鐵に於ても同じ條件なるも內地鐵道省よりの轉出者の待週がよく社員會に於て問題となつたことがあり會社團體の特殊事情を考慮しても初任給三十圓乃至四十圓の開きと住宅の有無は余りに過大にすぎ從業者の能率からも、また人的要素の普遍化にも給與の改正は必然的なものでこれが合理化は刻下の急務であらう

躍進滿洲展覽會

四月二十八日から六日間 寶山、新民戲院で

滿洲國皇帝陛下御訪日を永遠に記念する訪日宣詔記念日はいよ〳〵來る五月二日に迫り滿洲國では支那事變の非常時局に際し益々日滿一德一心の關係を鞏化するため中央地方各機關が中心となつて種々催ものを計畫してゐるが、新京においては弘報處および協和會主催の下に來る四月廿八日より五月二日まで市內寶山百貨店（第一會場）同新民戲院（第二會場）で「躍進滿洲國展覽會」を開催しこの記念日を意義づける事になつてゐる、なほ出品は宮內府の御貸下參考品をはじめ日滿共存共榮關係に重點を置いた各機關の出品がある筈で恐らく記念日隨一の豪華な催物となるであらう

阿片窟に 昨夕一齊檢索

中央通警察署では最近阿片嗎藥密賣業者が管內に跋扈する傾向に鑑みて一には防犯の見地からこれが掃滅を期して廿九日午後五時より署員を動員し小澤署長總指揮の下に管內の阿片窟を一齊に襲ひ不正業者滿人約五十名餘、日本人三四名を檢束して同七時引揚げいづれも留置の上取調べてゐるが、これ等不正業者には斷乎嚴重處分する意向である

松花江の魚で 蒲鉾製造

吉鐵產業課では松花江より取れる魚で蒲鉾の製造を銳意研究中のところ、この度松花江が解水し漁撈季節に入つたので白魚雷魚などを大連に送り蒲鉾製造方を依賴した、これが成功の曉は松花江の漁民に一大福音となるので多大の注目を惹いてゐる

文化映畫製作交涉纏る 外山氏けふ歸京

滿洲文化映畫製作のため十七日來京した美術批評家外山卯三郎氏は滿來關係機關と折衝中であつたが、大體交涉纏まり三十日午前八時の列車で一先づ歸京準備を整へ五月來京娘々祭の撮影をなすことになつたが、氏はこれを機會に世界的國寶とも言ふべき熱河離宮其他をカメラに收める豫定である

藤田氏治療法使用の 研究院創設決定 四月から事業開始

性病撲滅へ

進歩せる現代の醫學界に於て不治の難病とされてゐる最も恐るべき亡國病梅毒性疾患並に淋毒性疾患を僅か十數時間の超スピードで全治し而も些かの副作用も起さぬといふ治療器並に治療法『クールバアド法』が東京熱科學研究所長藤田壽正氏によつて發明され世界の醫界を驚倒させてゐる、同療法は幾多試驗の結果その絶大なる效果が證明され國民體位の向上に乘り出した厚生省の傷病者救療委員會でもこの治療法を採用することになり、更に東京市衛生課陸軍々醫學校でもその效果の顯著なるに驚きこれを採用せんとしてゐるが藤田氏は人類福祉の上から見て友邦滿洲國や北支にも是非この療法を擴めんと十七日來京日滿各機關と種々折衝の結果絶大なる贊成を得國策機關として新京に○○熱科學研究院が創設されることに決定した、同研究院の出現は單に患者のみならず國家の一大福音として各方面から多大の期待をもつて迎へられてゐる、事業開始は四月上旬の豫定で將來は北支中南支から更に全亞細亞に擴大せんと遠大なる計畫を樹てゝゐる模樣である

人類のための緊急事業 藤田氏語る

○○熱科學研究院創設にあたり藤田氏は左の如く語る

現下の非常時局にあたり、國民體位向上の必要が痛感されてゐることは、ひとり日本帝國に於てのみではなく、友邦滿洲帝國に於ても亦同樣である既に滿洲帝國に於ては「滿洲結核豫防會」なるものが組織されて亡國病結核豫防撲滅運動の具體的な活動が開始されてゐる、然るに國民體位の低下は、ひとり結核豫防のみによつて達成されるものではない、事實さうした病毒に比較して、はるかに激烈な害毒をながしつゝあるものは、實の亡國病とも言ふべき性病ではないか、罪なき兒童はその先天的な梅毒性疾患のため、貴き前途を失ひ、その生命をさへ奪はれ、その惠まれた才能を殺害されてゐるではないか、それは何人の罪であり、何人によつて救はれることだらうか、また成人は後天的な淋毒性疾患や梅毒性疾患のために

幾多の

有意の人材が失はれつゝあるではないか、この恐るべき亡國病を撲滅することこそまことに人類に寄與する人間の任務である、またそれは一人技術者の私すべき營利事業ではなく、國家が國策として施行すべき最大の緊急事業であると言はねばならぬ、「當財團法人●熱科學研究所」はすでに過去十年間の研究により、亡國病梅毒性疾患並に淋毒性疾患を、急速に寛解せしむる治療器並に治療法「クールバアド法」を發案し、目下その實驗治療につゝあり、絶大なる效果を示しつゝあり、現に文部省より學術研究財團法人として認可され、後援を受け、その治癒率の優秀なること並に短時間に寛解する療法なるために、今や斯界より絶大なる讚賞を受けつゝあり、また本年に至り厚生省の傷病者救療委員會に於て附議採用の決定を見たのみならず、更に東京市衛生課に於ても、現に施行方法を考究中であり最近に至り陸軍軍醫學校より、患者の委託を受けて

治療を

試みつゝあるも、その效果の顯著なるに驚き、當局に於ても、近くこれが採用を見る筈である、吾人はこの非常時局を認識し、ひとり日本帝國のためのみではなく、滿洲帝國に於ける國民體位の低下せる現狀にかんがみ、こゝに滿洲帝國國內性病の豫防知識の普及をはかるとゝもに、劃時的に優秀な治療技術を採用して、この恐るべき亡國病撲滅運動の社會的活動を實施せんと各方面と折衝中であつたが絶大なる贊成を得てこゝにその熱科學研究院へ生れた事は誠に欣快に堪へず衷心感謝の意を表する次第である【寫眞は藤田氏】

王道書院聽講生 故鄭氏靈前に花輪供ふ

建國の元勳鄭孝胥氏薨去の報に氏が建國當初より三ケ年間にわたる國務總理の重責を退いてより王道精神の昂揚普及を念として私財を擲ち創設した王道書院に學ぶ聽講生一同は悲しみの色に滿ち哀弔の意を表してゐたが、一同相計り故人の遺德を偲んで靈前に花輪を供へることゝし生徒代表として小豆澤洗、錫聘三、王萬有の三君が廿九日午後四時弔問客織るが如く往來する故人邸に到り弔問した

故鄭氏令孫歸京

憲法研究の爲東京留學中の故鄭孝胥氏の令孫鄭禛政氏は祖父危篤の報に急遽東京出發歸國の途につき途中安東で薨去の報を受取り悲しみのうちに廿九日午後十時新京驛着ひかりで歸京したが語る

危いとの電報に飛んで來たのですが遂に間に會はず死去の報を安東で聞きました 私達にとつてはいゝ祖父でした葬儀に參列後又日本へ行き憲法の研究を續けます

軍犬協會役員會

滿洲軍用犬協會新京支部では四月一日午後六時から大同大街大興ビル食堂で役員會を開き昭和十三年度重要案件につき協議することになつた、役員多數の出席を希望すると

囚人から献金

監獄の囚人が王道樂土の餘惠に感激し、非常時の折柄國防費の一端にもと零細な小遣金を集めて献金を申出で係員を感激せしめてゐる＝吉林省扶餘縣にある新京監獄扶餘監受刑犯人一同十六名は日頃の小遣錢を儉約し吳分監長を通じ二十八日午後協和會中央本部に合計金一圓二十錢を添附して來た、協和會では早速献金手續を取ることゝなつたがこの囚人等の眞心には痛く感激してゐる

全國選拔野球

第十五回全國選拔中等學校野球大會二日目試合結果左の如し

東邦商 11—5 京阪商
平安中 1—0 廣島商
撫養中 4—0 瀧草中

新警務科長來社

首都警察廳警務科長理事官森田貞男氏は二十九日着任挨拶に來社

新密山署長來社

首都警察から牡丹江省密山縣新密山警察署長に榮轉の警正立花虎雄氏は二十九日挨拶に來社

プレンソーダ

市公署槇田庶務科長この前記者倶樂部員と奉天市政見學に赴いたが▼驛につくなり料亭にとび込み、そのまゝ皆んな仲よくしけ込むなんてなんだか學生時代のことが思ひ出されるね▼と昔懷しげに語つてゐたが奉天につくなりこの獨身ハリキリ美男科長俄然猛烈な活動を開始したことは勿論である▼然し翌朝記者連中が宿に押しかけた時は風呂に入つてどてらに着換へ朝食を濟ました科長さん、どうだ俺は何もしないぞ昨夜宴會が終つたらすぐ歸つて來て寢たんだぞといふ樣な謹嚴な顏をしてゐた▼眞疑の程は書くことを遠慮するとしても良い心掛けだ、氣の毒なのは弘報股の三浦君であつた、新京に殘して來た女房に申譯ないといつてぐず〳〵してゐる間に朝飯のない宿屋を失して仕舞ひ朝の四時頃迄市中をうろついた擧句漸く怪しげな宿をみつけたが睡眠不足で翌朝は目を眞赤に腫らしてやつて來た▼歸りには撫順で留止を買ひ忘れたからと車中で林檎の籠を女房の土産に買つたところなど相當な女房孝行であるこのプレンソーダが女房につくした彼が心中立の證明になればと思つてネ

天氣と氣溫

けふの天氣 西寄りの風晴
日の出 前六時二八分
日の入 後七時一分
月の出 前五時一五分
月の入 後五時三一分
きのふの氣溫 最高一二度七 最低零下一度二

義人長七郎

（二百六）

中川雨之助 作　竹む一郎 畫

眼前の仇（二）

軍平は、あたりを見まはすと、手燭を、かたはらの石の上に据えて、自分はそこに、屈みました。香島との隔たりは、僅か三尺ぐらゐです。

「びつくりしたであらう。どうして、こんな目に遭つたか、その譯は、おまへにわかつてゐるかね？」

さういつた言葉にも香島は、絶えて返辭を與へようとはしません。只だ、涙をこめた眼で、鋭く睨みつけてゐるばかりです。

軍平は、返辭を待つてゐたが、なんとも言はないので、ちよつと肩をゆすつて、せゝら笑つて、言ひました。

「どうだ、わかるかね？わからないだらう。わからないのが、あたりまへだ。ところで、おまへを武蔵へ連れて来たものは言ふまでも無く、このわしだ。けれどわしは、女のおまへなんかよりは、むしろ、おまへの兄の英之助を、數層倍か憎んでおるものだ」といつて、今度は、低い調子で、しかも香島に聞けがしに。

「……その英之助も、追つけ、殺してしまふのだが……」と、つぶやくやうに言ふのでした。

「えツ。兄さんを……？」

驚きが、思はず咽喉をすべる響になつてしまつたのです。わが身の危險よりも、兄の危險が、どれほど彼女を、脅やかしたことでせう。

「サアそこで、わしの素性を、おまへの前にハツキリさせてしまふことが、一切の事情を明かにする近道なのだ。おまへを、掠つて來たわけも……また英之助を憎むわけもな……サア名乗るぞ、いゝか。よく聞いて置け、おれは、大江軍平といふ者だ」

「えツ。大江……軍平！」

大江軍平とは、忘れることの出來ない名まへでした。

御墨付の曲者、父の仇、それは切支丹の浪人、大江軍平といふものであると、いつぞや長七郎に聞かされて以來、深く心に刻みつけられ、片刻も忘れることはできなかつた。

現在その敵を目の前に置きながら、身に寸鐵も帶びぬ悲しさ、どうすることもできない彼女なのでした。

「高崎の城中へ忍び入つて、家臣から御墨付を奪つたのは拙者だ。しかしあの時斬り倒した藩士が、おまへ達の父であらうとは夢にも知らなかつた」

香島の眼から、ハラ〳〵と泪がこぼれます。

「だが、無益の殺生をしたものだと、いまでは後悔をしてゐる。おまへ達兄妹を、敵の輩だと思つてゐる。どちらかと云へば、おれは潔よく敵と名乘つて討たれてやりたいくらゐだ」

軍平が、意外なことを言ひ出したので、香島は思はず涙の眼をみはりました。

「だが、おれには一つの大望がある。その大望のために、討たれてやることができないのだ。英之助だつてさうだ、おれを敵と狙つてヂタバタ騒ぎ廻るから、返り討にしようと思ふものゝ、温和くさへして居れば、おれだつて打棄つておくのだ。それも、これも、みんな大望を遂げたいためだ。まして女のおまへなんか、おれは殆んど眼中に無い。女一人を怖れるほどおれはまだ弱くないのだ」

「それならなぜ、わたしを、こんな酷い目に遭はせたのか」と、香島は、きめつけてやりたかつたのです。すると軍平は。

「それは、おれ以外にまだ一人、おまへを憎んで居る者がある」といひました。